

2024年度（令和6年度） 事業年報 Annual Report

公益財団法人 山口県予防保健協会

目次

協会について	4
概要、事業の目的、沿革	5
組織図（2025 年度）	6
役員名簿	7
評議員名簿	8
社会的責任の基本方針	9
行動基準	10
個人情報保護方針	11
情報セキュリティマネジメント（I SMS）認証取得	12
2024（令和6）年度事業報告	13
1． 普及啓発事業	15
2－1． 受診者数の推移	18
2－2． 学校保健事業	20
2－3． 地域保健事業	21
ア）胃がん検診	21
イ）子宮頸がん検診	22
ウ）肺がん検診(エックス線)	23
エ）肺がん検診(喀痰)	24
オ）乳がん検診	25
カ）前立腺がん検診	25
キ）大腸がん検診	26
ク）特定健診	27
ケ）骨粗しょう症検診	30
2－4． 職域保健事業	31
ア）胃がん検診	31
イ）子宮頸がん検診	32
ウ）肺がん検診(エックス線)	33
エ）肺がん検診(CT)	34
オ）肺がん検診(喀痰)	35
カ）乳がん検診	36
キ）大腸がん検診	38
ク）特定健診	39
ケ）腹部超音波検診	42
コ）前立腺がん検診	43
サ）骨粗しょう症検診	44
シ）特殊健康診断	45
ス）アレルギー検査	45
セ）労災二次健診	46
ソ）血液検査	47
タ）その他検査	50
2－5． 新生児先天性代謝異常検査	53
2－6． 特定保健指導	57

協会について



概要

名称	公益財団法人山口県予防保健協会
設立	1986 年 3 月
所在地	山口県山口市吉敷下東三丁目 1 番 1 号
代表者	理事長 加藤 智栄（山口県医師会 会長）

事業の目的

この法人は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

沿革

●1974 年 5 月

公衆衛生、労働衛生の向上及び社会福祉の発展に寄与することを目的とする公益法人として「財団法人山口県予防衛生協会」を設立する。

●1975 年 4 月

名称を「財団法人山口県予防衛生医学協会」に改称する。

●1986 年 3 月

「財団法人山口県予防衛生医学協会」と「財団法人結核予防会山口県支部」が統合し、「財団法人山口県予防保健協会」を設立する。（「財団法人結核予防会山口県支部」を兼ねる）

●1996 年 4 月

「財団法人山口県対がん協会」と合併。（「財団法人日本対がん協会山口県支部」を兼ねる）

●2013 年 4 月

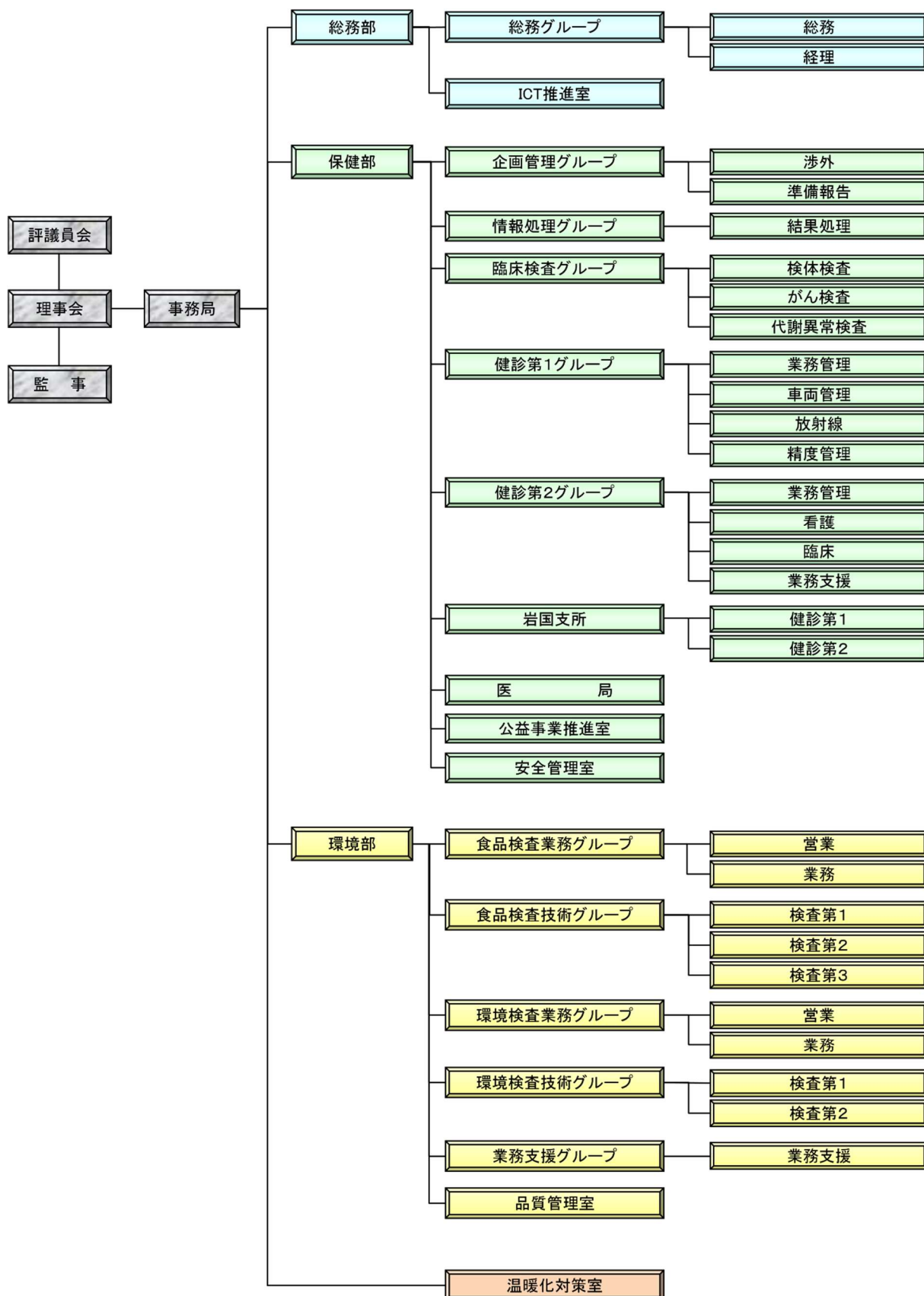
山口県の認定を受け公益財団法人化し、名称を「公益財団法人山口県予防保健協会」に改称する。

●2019 年 4 月

公益財団法人予防医学事業中央会に加盟する。（「公益財団法人予防医学事業中央会山口県支部」を兼ねる。）

公益財団法人山口県予防保健協会組織図

2025 年 4 月 1 日現在



役員名簿

2026 年 2 月 1 日現在

役員名	常勤 ／非常勤	氏名	推薦母体 所属
理 事 長	非常勤	加藤 智栄	山口県医師会 山口労災病院 院長
副理事長	非常勤	石丸 泰隆	山口県 健康福祉部長
副理事長	非常勤	松本 常男	山口県予防保健協会 山口宇部医療センター 名誉院長
専務理事	常勤	若林 芳典	山口県予防保健協会 山口県予防保健協会 専務理事
理 事	非常勤	尾中 宇蘭	山口県病院協会 尾中病院 理事長
理 事	非常勤	佐世 正勝	山口県産婦人科医会 山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長
理 事	非常勤	篠崎 圭二	山口県市長会 宇部市長
理 事	非常勤	中村 洋	山口県医師会 済生会湯田温泉病院 院長
理 事	非常勤	花田 憲彦	山口県町村会 阿武町長
理 事	非常勤	藤井 恵子	山口県連合婦人会 山口県連合婦人会 会長
監 事	非常勤	小池 政弘	山口銀行 山口銀行 専務執行役員山口支店長
監 事	非常勤	重村 和雄	税理士法人塩見会計事務所 税理士法人塩見会計事務所 代表社員

12 名

評議員名簿

2025 年 6 月 19 日現在

氏名	推薦母体 所属
戎本 潤	山口産業保健総合支援センター 山口産業保健総合支援センター 副所長
沖中 芳彦	山口県医師会 沖中耳鼻咽喉科クリニック 院長
栗元 教行	健康保険組合連合会山口連合会 健康保険組合連合会山口連合会 事務局長
調 恒明	山口県 山口県環境保健センター 所長
関根 雅彦	山口県予防保健協会 山口大学 名誉教授
高橋 幸広	山口県 山口健康福祉センター 所長
堤 雄介	山口県産業医会 堤労働衛生コンサルタント事務所
藤井 郁英	山口県医師会 阿知須共立病院 総合健診センター長
本多 昭洋	山口県市町総合事務局 山口県市町総合事務局 事務局長
光永 将	山口県病院協会 山口県病院協会 事務局長

10 名

公益財団法人山口県予防保健協会

社会的責任の基本方針

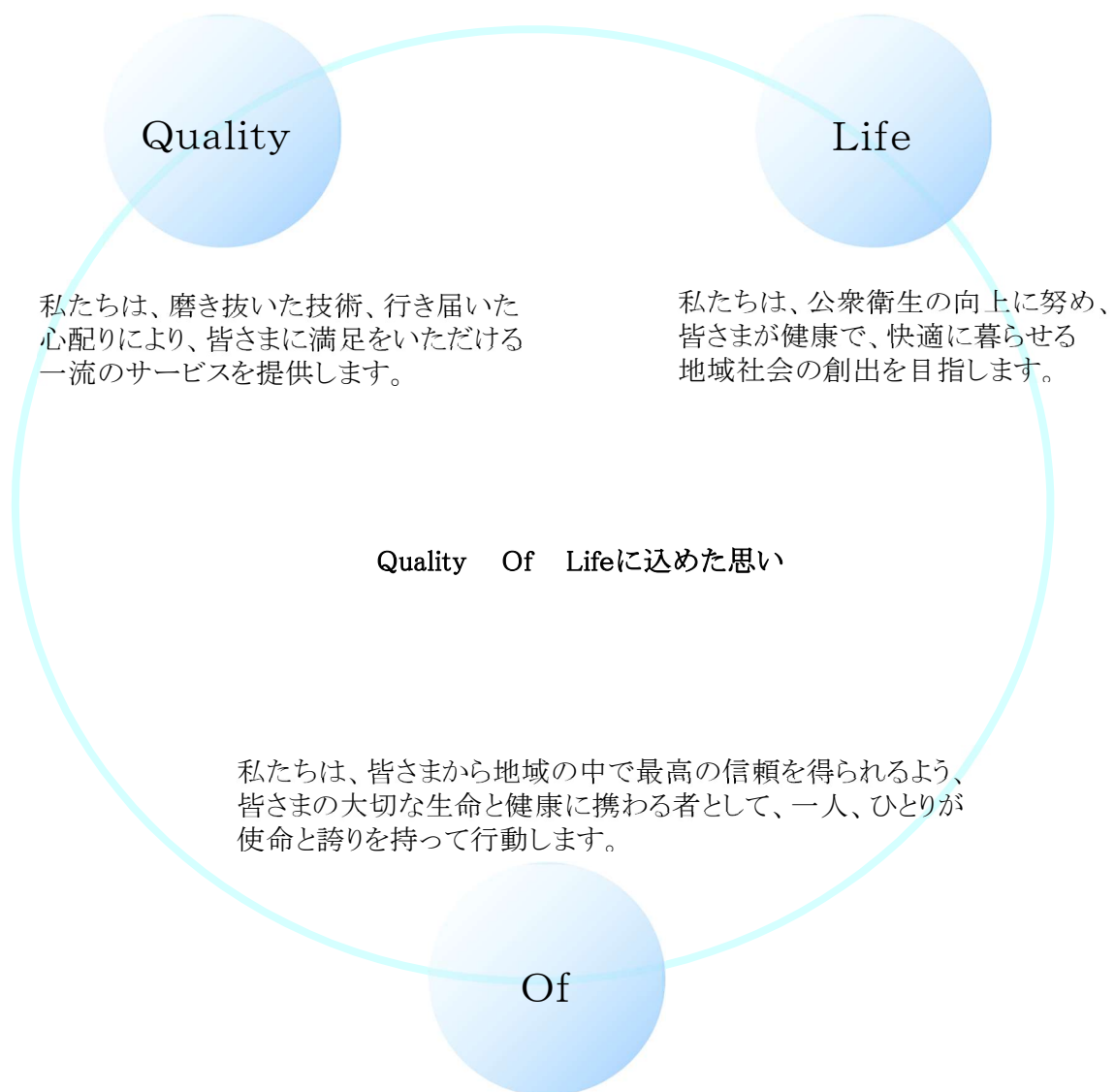
当協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じた健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的として事業を進めます。

当協会は、責任ある公益財団法人として、以下のことについて自主的かつ継続的に取り組んでまいります。

- 1 法令遵守の徹底と倫理観の確立
- 2 健康診断・食品や環境検査を通じ社会への貢献
- 3 精度管理を徹底し、高品質なサービスの提供
- 4 情報開示及びセキュリティ対策の実施
- 5 公正な競争・取引、適正な事業活動
- 6 地球環境保護に配慮した適切な行動

Quality Of Life

私たちは 皆さまの 生活の質を高めるため
心身の健康と 安心して快適に暮らせる環境づくりに貢献します



個人情報保護方針

公益財団法人山口県予防保健協会は、健康の保持増進、生活環境の保全など、公衆衛生の向上を図るため、がんをはじめとした各種の健康診断、生活習慣に関する保健指導、生活環境の調査及び分析、食品及び飲料水の検査などを行い、併せて、これらの事業により得られた成果等を基に広く啓発活動を実施し、もって新生児から高齢者まで、誰もがそのライフステージに応じて健康で、安心して暮らせる社会づくりに寄与することを目的としています。

それらに関連して、皆様から取得いたしました個人情報につきましては、正確かつ安全に取扱い、保護・管理に万全を期するために、職員に対する指導を徹底強化し、個人情報の紛失、改ざん及び漏洩等が発生しないよう、万全なる安全対策を継続的に講じていくため、次のとおり宣言します。

- 1 当協会の実施している事業で労働安全衛生法、学校保健法、母子健康法、原爆医療法及び感染症法等に係る健康診断又はがん検診、全国健康保険協会生活習慣病予防健診並びに生活環境の保全に関する検査、食品の安全衛生に関する検査の事業活動において、適正な個人情報の取得、利用及び提供が確実に実施されるような体制を維持します。
- 2 個人情報を取得するに当たっては、利用目的を明示するとともに、その利用については同意が得られた範囲内での利用・提供に限定し、目的外利用はいたしません。また、当協会が保有する個人情報を読影等で外部委託する場合は、委託先の評価・管理を実施し、安全な保護水準を維持します。
- 3 当協会が取扱う個人情報へのあらゆるリスク（漏洩、滅失又はき損）に対し、効果的な安全対策等の予防措置を講ずるとともに、リスク発生時には速やかに是正処置を講じることにより、再発を防止します。
- 4 個人情報に関する苦情及び相談に対して速やかに対応いたします。
- 5 個人情報保護のため、個人情報保護規程のほか、各種管理細則を定め、定期的な内部監査等を通じて継続的な改善を行うとともに、法令の改正、国の定める指針等を注視し、社会情勢の変化等に適合した管理体制を維持します。

制 定 日 2007年10月 7日

最終改訂日 2022年 8月 4日

公益財団法人山口県予防保健協会

理 事 長 加 藤 智 栄

個人情報相談窓口

総務部 一般的な個人情報に関すること

保健部 健康診断に関すること

TEL 083-933-0008 FAX 083-923-5567

環境部 水質、その他の検査に関すること

TEL 083-941-6300 FAX 083-941-6400

情報セキュリティマネジメント（ISMS）認証取得

登録証

登録番号: J0762
登録日: 2025年03月05日
変更日: 2026年01月26日
有効期限: 2026年03月04日



公益財団法人山口県予防保健協会

本館保健部
山口県山口市吉敷下東 3-1-1

貴社の情報セキュリティマネジメントシステムは、当社の審査の結果
JIS Q 27001:2025 (ISO/IEC 27001:2022+Amd 1:2024)

の要求事項に適合していることを証明します。

<登録範囲>

- ①健康診断に関する業務
 - ②保健指導に関する業務
 - ③予防接種に関する業務
 - ④メンタルヘルスに関する業務
 - ⑤産業保健活動に関する業務
- (適用宣言書: 2025年8月1日 第3版)

本認証は、情報セキュリティマネジメントシステムが事業登録要求事項に適合していることを条件に有効とします。
本書は、付属書と併せてご覧ください。



エイエスアール
東京都中央区日本橋坂
上級経営管理者
田口 大

付属書 1/1

登録番号: J0762
変更日: 2026年01月26日
有効期限: 2026年03月04日



公益財団法人山口県予防保健協会

本館保健部 ①健康診断に関する業務
山口県山口市吉敷下東 3-1-1 ②保健指導に関する業務
③予防接種に関する業務
④メンタルヘルスに関する業務
⑤産業保健活動に関する業務

別館保健部 ①健康診断に関する業務
山口県山口市小郡上郷 5408-1 ②保健指導に関する業務
③予防接種に関する業務
④メンタルヘルスに関する業務
⑤産業保健活動に関する業務

岩田支所 ①健康診断に関する業務
山口県岩田町多田 1-103-12 ③予防接種に関する業務



エイエスアール株式会社
東京都中央区日本橋蛸留町 1-10-15
上級経営管理者
田口 大

2024（令和6）年度事業報告

集計期間は2024年4月1日から2025年3月31日

精検受診に関するデータは2026年1月31日時点までを集計



総括的事項

経年的に業績の底堅い成長が続く中、2024年度については不確実性が高まる市場の変化を的確に捉え更なる成長を後押しできるよう、職員のキャリア自律を促し、次代を見据えた市場ニーズを先取りしながら事業計画の達成に努めた結果、事業収益は2,262,191千円と、事業計画に対して概ね計画通りであった。各事業の展開は次のとおりである

公益目的事業として実施した保健事業（公1）については、事業の支柱である健康診断業務において、野心的な目標を掲げ業績拡大に取り組んだものの、主力の事業所健診とともに、新たに開始した拡大新生児マススクリーニング検査（3疾患）等が伸び悩み、事業収益が1,553,298千円と、事業計画に対して3.0%下回った。

こうした中、健康の保持増進等に係る普及啓発業務については、行政や関係団体との連携・協力の下、がんをはじめとする生活習慣病等の疾病の予防や、健康の保持増進に関する普及啓発を図り、県民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献した。また、健康診断業務については、健診実施機関として適切な感染症対策を行い、安心安全な受診環境を確保し、業務継続・受診率回復を図りながら、業績の維持向上に努めた。

温暖化防止事業（公2）については、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、行動変容を図る「社会実装型」の取組を拡充し、事業収益が27,691千円と、事業計画に対して概ね計画通りであった。

こうした中、県より指定を受けた山口県地球温暖化防止活動推進センターとして、国や県等の民間団体向け補助・委託事業を積極的に受託し、啓発・広報活動を通じて地域における温室効果ガス排出削減等の取組促進を図った。また「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」（デコ活[※]）を通じて、脱炭素型ライフスタイルへの転換促進を図った。

※二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

収益事業として実施した環境事業（収）については、新たな視点で業績拡大に取り組み、総じて堅調に推移し、事業収益が681,202千円と、事業計画に対して5.9%上回った。

こうした中、環境保全業務及び飲用水検査業務では、依然として厳しい受注環境が続くものの、異業種間連携や官公庁の入札等を通じて新たな需要を掘り起こしながら収益力の改善を図り、業績の維持向上に努めた。また、全国を市場として展開する食品検査業務では、その中核となる残留農薬検査や栄養成分検査等により高い収益性を確保しつつ、プラントベース食品等、今後消費拡大が期待される次世代食品の検査に着目し、更なる業績の維持向上に努めた。

業務実施報告

（単位：千円）

	計 画 (A)	実 績 (B)	前年度実績 (C)	B/A (%)
保 健 事 業 (公1)	1,600,519	1,553,298	1,529,413	97.0
温暖化防止事業 (公2)	27,487	27,691	25,508	100.7
環 境 事 業 (収)	642,970	681,202	640,645	105.9
合 計	2,270,976	2,262,191	2,195,566	99.6

1. 普及啓発事業

■リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち

地域でつながるがん征圧・がん患者支援のためのイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 やまぐち」を10月5日（土）に山口県総合保健会館2階にて開催しました。

今年、9回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちは、昨年に続き、室内で開催しました。110 人の方に参加していただき、会場にはたくさんのルミナリエが並べられ、HOPEが綺麗に輝いていました。また、実行委員が参加者に寄り添い、話しかけて一緒に歩き、楽しんでいる様子を見て、参加者も実行委員も楽しめる温かいリレーをこれからも続けていきたいと思いました。



■世界禁煙デー

世界保健機関（WHO）は、平成元年に5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指しはじめました。厚生労働省においても平成4年から世界禁煙デーの始まる1週間（5月31日～6月6日）を「禁煙週間」として定めています。

株式会社サンデー山口様の協力を得て、5月29日（水）の新聞に広告を掲載し啓発活動を行いました。

■がん晴るフェアin 周南市

12月15日（日）周南シビック交流センターで開催されました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐちの実行委員の方々と、がん患者支援活動を写真などの展示にて啓発活動を行いました。また、募金活動やグッズ販売をしました。



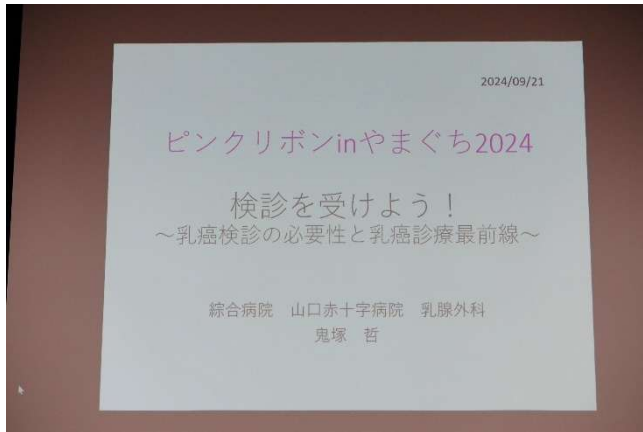
■複十字シール運動

8月8日（木）に結核予防の知識普及啓発や複十字シール運動の推進への協力要請のため、山口県結核予防婦人会（山口県連合婦人会）の皆様と当協会理事長が平屋貴之山口県副知事を表敬訪問しました。結核予防マスコットキャラクターの「シールぼうや」のぬいぐるみや啓発資料、グッズ等を贈呈しました。



■ピンクリボンイベント

10月のピンクリボン月間にあたり、9月21日（土）乳がんに関する県民公開講座「ピンクリボンinやまぐち2024」を山口県健康づくりセンター多目的ホールで、公益財団法人山口県健康福祉財団と共催し、約220人の参加がありました。基調講演で山口赤十字病院外科副部長の鬼塚哲先生が「検診を受けよう！～乳がん検診の必要性和乳癌治療最前線～」、特別講演としてお笑いタレントのだいたひかるさんが「不妊治療か、がん治療か 46歳で出産した私の選択」と、それぞれの演題で講演が行われました。



■がん征圧月間の啓発

厚生労働省は毎年9月をがん征圧月間と定め、がん予防に対する意識啓発を目的として、適切な予防や早期発見、早期治療を呼び掛けています。

昨年度に引き続き、防長交通株式会社様の協力を得て、県内の各エリア（柳井市、周南市、下松市、防府市、山口市、萩市等）14路線のバスで広報するとともに、山口県総合保健会館に垂幕を掲示しました。

また、株式会社西部毎日広告社様、株式会社読売広告西部様、株式会社宇部日報様、株式会社朝日広告社様、株式会社サンデー山口様の協力を得て、新聞各社に広告を掲載し啓発活動をしました。

■世界糖尿病デー

国際連合は毎年11月14日を世界糖尿病デーに認定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養について啓発運動を推進することとしました。世界糖尿病デーを含み一週間を「全国糖尿病週間」として啓発運動が行われています。糖尿病に対する誤った情報や偏見をなくし、糖尿病患者の権利を守ることが、適切な治療や重症化予防につながると呼びかけています。

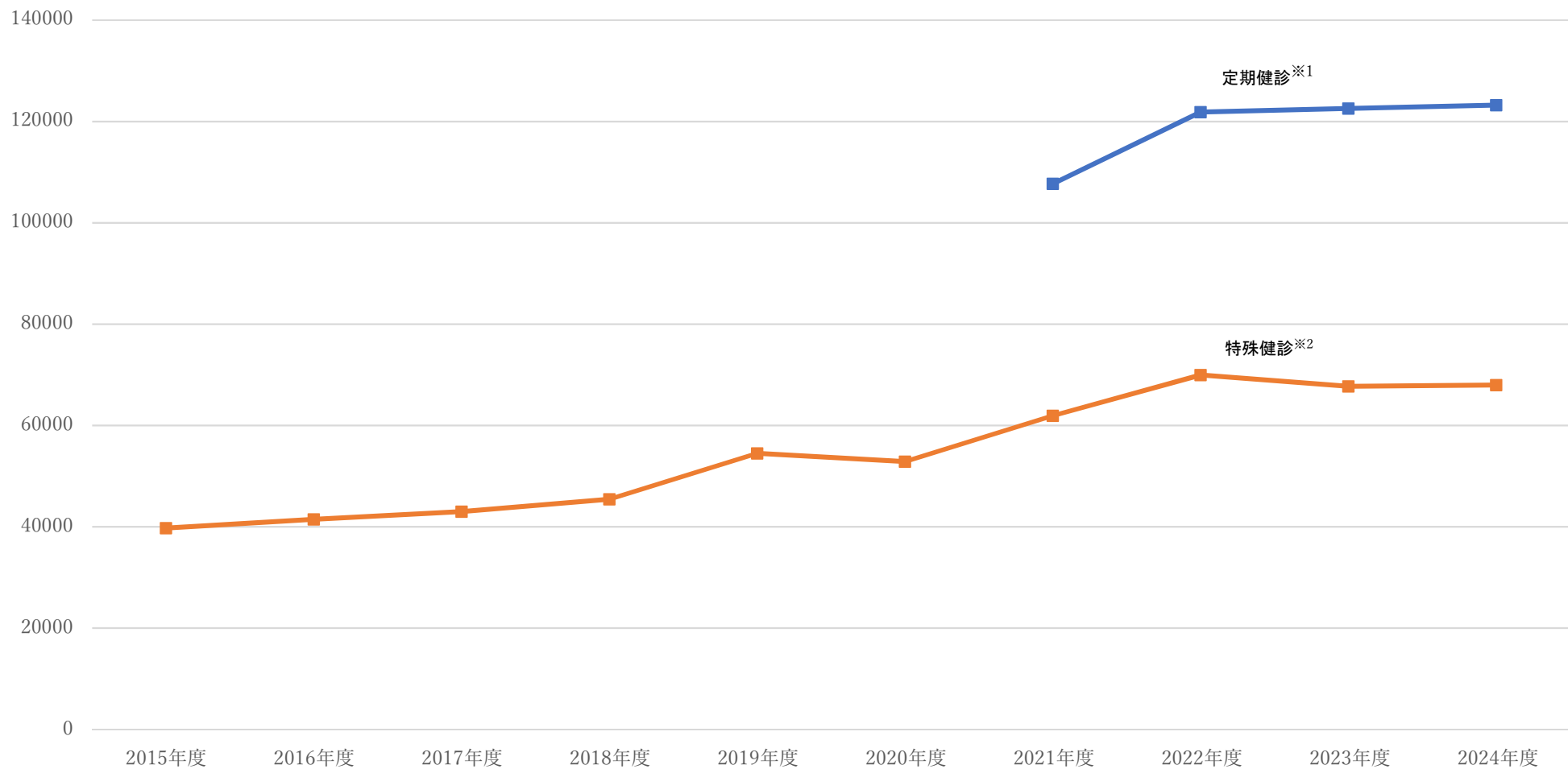
糖尿病の予防や治療継続の重要性について、株式会社サンデー山口様の協力を得て、11月9日（土）に広告を掲載し啓発しました。

■その他の啓発

結核予防週間（9月）、生活習慣病予防月間（2月）を株式会社サンデー山口様の協力を得て広く啓発を行いました。

2－1．受診者数の推移

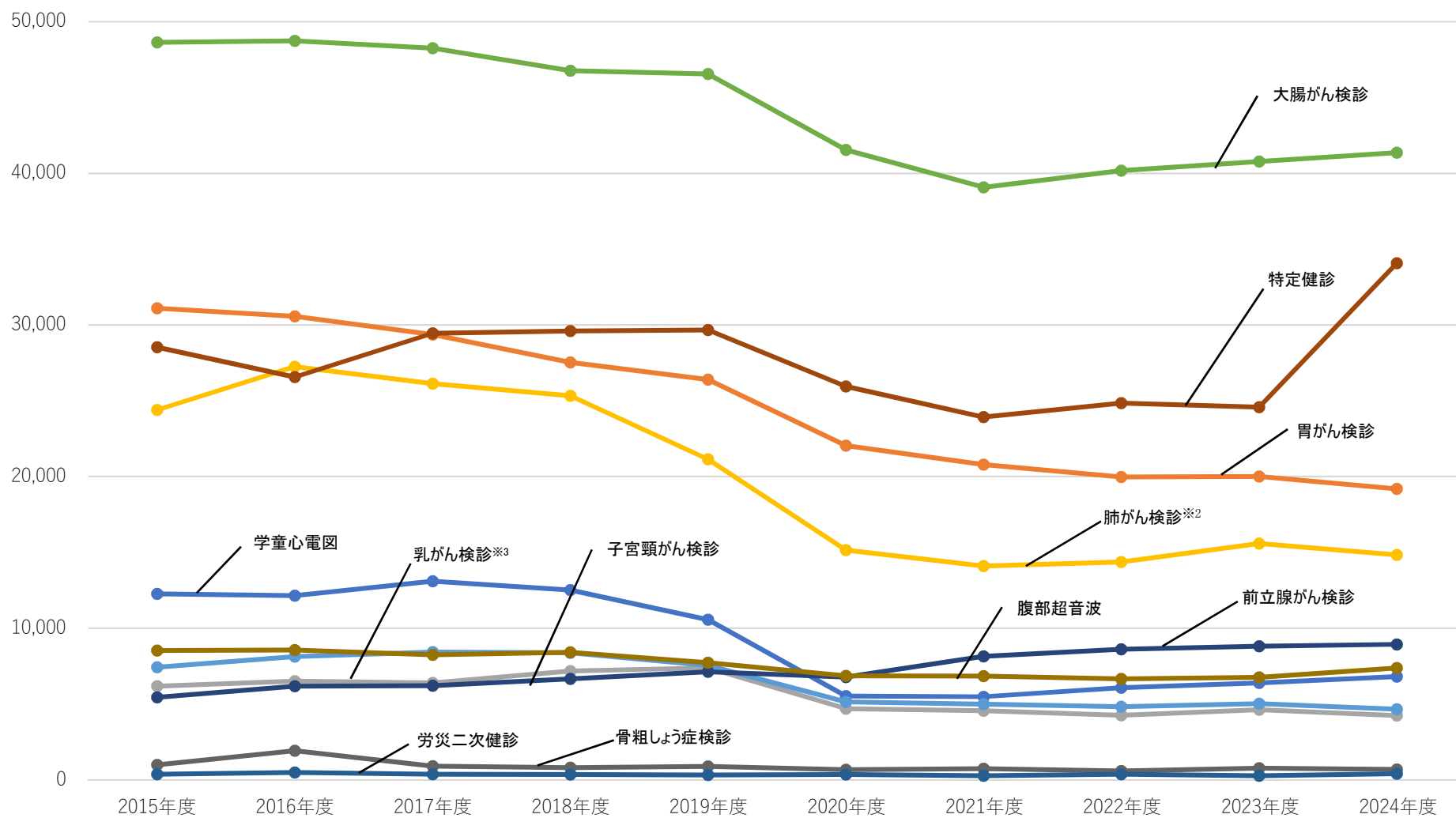
図1 検診種別による受診者数(件数)の推移



※1 定期健診は2020年以前の集計方法が違い、2021年度から掲載した

※2 特殊健診は延べ人数で算出した

図2 検診種別による受診者数(件数)の推移



※1 2021 年度に各項目の集計方法の見直しを行ったため、件数が増加した

※2 肺がん検診は胸部 X 線検査と喀痰検査の合計

※3 乳がん検診は視触診、マンモグラフィー検査、乳腺超音波検査の合計

2－2．学校保健事業

■胸部検診

胸部検診を実施した結果、判定の内訳は表1に示すとおりであった。

胸部検診の要精検率は0.27％であった。

表1 胸部検診の実施成績

判 定	異常なし	有所見者数	要精密検査	合計
件 数	2,575	9	7	2,584
%	99.65	0.35	0.27	100.0

■血液検査

貧血検査を実施した結果、判定の内訳は表2に示すとおりであった。

貧血検査の要精検率は6.8％であり、前年度5.2％と比べて1.6ポイント増加した。

表2 貧血検査の実施成績

判 定	異常なし	特に支障なし	要生活注意	要精密検査	合計
件 数	50	10	9	5	74
%	67.6	13.5	12.2	6.8	100.0

■心電図検査

心電図検査の実施数は6,805件、前年度は6,393件で412件増加した。

学校保健事業における心電図検査は、検査のみの受託や判読までの受託があり、全体の件数の内、結果を電算登録しているデータから得た判定の内訳は表3に示すとおりであった。

要精検率は1.1％であり、前年度1.9％と比べて0.8ポイント減少した。

表3 心電図検査の実施成績

判 定	異常なし	要経過観察	要精密検査	要医療要治療	合計
件 数	6,600	126	77	2	6,805
%	96.99	1.85	1.13	0.03	100.0

2－3．地域保健事業

ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表4に示すとおりであった。要精検率は5.6%で、前年度8.2%と比べて2.6ポイント減少した。

精検受診率は72.1%であった。

表4 胃がん検診の実施成績

		受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果											
							食 道 が ん	食 道 潰 瘍	食 道 そ の 他	胃 が ん	胃 潰 瘍	胃 ポ リ プ	粘 膜 下 潰 瘍	巨 大 皺 壁	萎 縮 性 胃 炎	び らん 性 胃 炎	胃 そ の 他	十 二 指 腸 潰 瘍
男 性	40～44 歳	46	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	22	1	4.5	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	41	4	9.8	2	50.0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	55～59 歳	37	4	10.8	2	50.0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	60～64 歳	62	3	4.8	3	100.0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1
	65～69 歳	128	5	3.9	3	60.0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0
	70～74 歳	187	17	9.1	8	47.1	1	0	1	0	1	3	0	0	3	3	0	1
	75～79 歳	168	10	6.0	8	80.0	0	0	3	0	0	0	0	0	5	3	0	1
	80 歳～	132	9	6.8	6	66.7	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0
	計	823	53	6.4	32	60.4	1	0	10	0	2	7	0	0	15	7	1	3
女 性	40～44 歳	113	6	5.3	5	83.3	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1
	45～49 歳	72	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	114	3	2.6	2	66.7	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	55～59 歳	93	3	3.2	2	66.7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	60～64 歳	121	4	3.3	4	100.0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0
	65～69 歳	179	9	5.0	7	77.8	0	0	4	0	0	0	0	0	2	4	2	1
	70～74 歳	180	17	9.4	13	76.5	0	0	3	0	0	4	1	0	5	3	0	1
	75～79 歳	180	10	5.6	10	100.0	0	0	2	0	1	3	0	0	4	3	0	1
	80 歳～	104	6	5.8	5	83.3	0	0	0	1	0	1	2	0	1	2	0	1
	計	1,156	58	5.0	48	82.8	0	0	11	1	1	10	6	0	18	13	4	2
合計		1,979	111	5.6	80	72.1	1	0	21	1	3	17	6	0	33	20	5	3

イ) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表5に示すとおりであった。要精検率は2.5%（NILM※を除いた場合は0.5%）で、前年度1.9%と比べて0.6ポイント増加した。

精検受診率は25.5%、子宮がんは1人であった。

※Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy：推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベセスタシステムの基礎と実践－その理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

表5 子宮頸がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	要 精 検 率 % ※1	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果			
							子 宮 が ん	異 形 成	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～24 歳	25	1	4.0	4.0	1	100.0	0	0	0	1
25～29 歳	37	2	5.4	5.4	2	100.0	0	1	1	0
30～34 歳	101	3	3.0	1.0	0	0.0	—	—	—	—
35～39 歳	118	3	2.5	0.8	1	33.3	0	1	0	0
40～44 歳	213	12	5.6	0.5	2	16.7	0	1	1	0
45～49 歳	137	6	4.4	0.7	0	0.0	0	0	0	0
50～54 歳	150	8	5.3	1.3	3	37.5	0	1	2	0
55～59 歳	159	3	1.9	0.0	0	0.0	—	—	—	—
60～64 歳	183	1	0.5	0.0	0	0.0	—	—	—	—
65～69 歳	316	4	1.3	0.0	1	25.0	0	0	1	0
70～74 歳	326	5	1.5	0.3	2	40.0	1	0	1	0
75～79 歳	290	6	2.1	0.0	1	16.7	0	0	0	1
80 歳～	142	1	0.7	0.7	1	100.0	0	0	1	0
計	2,197	55	2.5	0.5	14	25.5	1	4	7	2

※1 NILM 除く

ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診(エックス線)の受診者数とその結果は表6に示すとおりであった。要精検率は3.7%で、前年度3.4%と比べて0.3ポイント増加した。

精検受診率は60.4%であった。

表6 肺がん検診(エックス線)の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	88	1	1.1	0	0.0	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	82	1	1.2	1	100.0	0	0	0	0	0	1
	50～54 歳	103	2	1.9	1	50.0	0	0	0	0	1	0
	55～59 歳	73	2	2.7	1	50.0	0	0	0	0	0	1
	60～64 歳	162	3	1.9	1	33.3	0	0	0	0	0	1
	65～69 歳	480	22	4.6	13	59.1	0	2	0	0	5	6
	70～74 歳	731	38	5.2	24	63.2	1	1	1	0	14	7
	75～79 歳	942	43	4.6	28	65.1	1	2	0	0	13	12
	80 歳～	911	55	6.0	39	70.9	0	5	0	0	22	12
	計	3,572	167	4.7	108	64.7	2	10	1	0	55	40
女 性	40～44 歳	339	3	0.9	1	33.3	0	0	0	0	1	0
	45～49 歳	276	1	0.4	0	0.0	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	293	5	1.7	0	0.0	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	334	2	0.6	0	0.0	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	501	9	1.8	1	11.1	0	0	0	0	1	0
	65～69 歳	929	30	3.2	23	76.7	0	0	0	0	18	5
	70～74 歳	1,259	42	3.3	27	64.3	1	3	0	0	10	13
	75～79 歳	1,336	55	4.1	35	63.6	0	1	0	0	13	21
	80 歳～	1,103	55	5.0	28	50.9	0	3	0	0	14	11
	計	6,370	202	3.2	115	56.9	1	7	0	0	57	50
合 計		9,942	369	3.7	223	60.4	3	17	1	0	112	90

エ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表7に示すとおりであった。

要精検者数は0人であった。

表7 肺がん検診(喀痰)の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	4	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	29	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	28	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	63	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	45	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	180	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
女 性	40～44 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	17	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		197	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—

オ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 8 に示すとおりであった。要精検率は 7.9% で、前年度 8.9% と比べて 1.0 ポイント減少した。精検受診率は 75.7% であった。

表 8 乳がん検診(マンモグラフィー検査)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
40～44 歳	280	29	10.4	24	82.8	0	6	0	5	13
45～49 歳	185	21	11.4	13	61.9	1	2	3	2	5
50～54 歳	194	15	7.7	11	73.3	2	3	0	2	5
55～59 歳	158	15	9.5	12	80.0	1	1	1	5	4
60～64 歳	225	15	6.7	12	80.0	2	3	0	1	6
65～69 歳	300	23	7.7	17	73.9	1	4	2	1	9
70～74 歳	352	21	6.0	18	85.7	1	5	4	2	7
75～79 歳	284	22	7.7	15	68.2	1	2	1	5	6
80 歳～	155	8	5.2	6	75.0	1	2	2	1	0
計	2,133	169	7.9	128	75.7	10	28	13	24	55

カ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診の受診者数とその結果は表 9 に示すとおりであった。要精検率は 6.1% で、前年度 6.5% と比べて 0.4 ポイント減少した。精検受診率は 0.0% であった。

表 9 前立腺がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑	前 立 腺 炎	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 疾 患	異 常 な し
40～44 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
45～49 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
50～54 歳	4	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
55～59 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
60～64 歳	13	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
65～69 歳	26	1	3.8	0	0.0	—	—	—	—	—	—
70～74 歳	32	3	9.4	0	0.0	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	16	2	12.5	0	0.0	—	—	—	—	—	—
80 歳～	14	1	7.1	0	0.0	—	—	—	—	—	—
計	115	7	6.1	0	0.0	—	—	—	—	—	—

キ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 10 に示すとおりであった。要精検率は 5.3%で、前年度 5.3%と同ポイントであった。

精検受診率は 57.2%、がんの陽性反応的中率は 1.6%であった。

表 10 大腸がん検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
							大 腸 が ん	ポ リ ー プ	憩 室	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	40～44 歳	90	5	5.6	2	40.0	0	0	0	1	1
	45～49 歳	65	3	4.6	3	100.0	0	1	1	2	1
	50～54 歳	67	1	1.5	1	100.0	0	1	0	0	0
	55～59 歳	70	2	2.9	2	100.0	0	1	0	1	0
	60～64 歳	115	6	5.2	5	83.3	0	5	1	0	0
	65～69 歳	267	16	6.0	10	62.5	0	7	1	0	2
	70～74 歳	422	27	6.4	11	40.7	0	7	2	3	2
	75～79 歳	475	28	5.9	17	60.7	0	10	3	2	6
	80 歳～ 計	526 2,097	52 140	9.9 6.7	33 84	63.5 60.0	1 1	17 49	10 18	4 13	5 17
女 性	40～44 歳	245	8	3.3	6	75.0	0	0	0	0	6
	45～49 歳	206	4	1.9	2	50.0	0	1	0	0	1
	50～54 歳	249	10	4.0	6	60.0	0	3	0	3	0
	55～59 歳	268	6	2.2	4	66.7	1	1	0	1	1
	60～64 歳	323	16	5.0	10	62.5	0	5	1	2	3
	65～69 歳	541	22	4.1	14	63.6	0	8	2	1	4
	70～74 歳	624	32	5.1	16	50.0	1	9	2	2	3
	75～79 歳	715	19	2.7	10	52.6	1	6	4	1	0
	80 歳～ 計	623 3,794	54 171	8.7 4.5	26 94	48.1 55.0	1 4	13 46	8 17	3 13	6 24
合 計		5,891	311	5.3	178	57.2	5	95	35	26	41

ク) 特定健診

特定健診の受診者数とその結果は表 11-(1)～(2) に示すとおりであった。

メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 15.8%で、前年度 14.9%と比べて 0.9 ポイント増加した。

表 11-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人)	402
受 診 者 数(人)	2,542
基準該当割合(%)	15.8

表 11-(2) 特定健診の実施成績 (1 / 3)

年 齢 階 級		受 診 者 数	メタボリックシンドローム				階 層 化				た ば こ			肥 満 度	
			基 準 該 当	予 備 軍 該 当	非 該 当	判 定 不 能	積 極 的 支 援	動 機 付 け 支 援	情 報 提 供	判 定 不 能	吸 う	吸 わ ない	以 前 は 吸 っ て い た	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	52	8	5	39	0	10	6	36	0	9	33	10	52	25
	45～49 歳	55	7	14	34	0	15	7	33	0	12	29	14	55	32
	50～54 歳	56	12	9	35	0	10	14	32	0	12	29	15	56	31
	55～59 歳	53	6	18	28	1	13	8	31	1	14	25	14	53	30
	60～64 歳	110	38	12	60	0	35	15	60	0	26	55	29	110	61
	65～69 歳	286	80	61	145	0	0	145	141	0	68	118	98	286	168
	70～74 歳	420	126	76	218	0	0	200	220	0	75	194	151	420	242
計		1,032	277	195	559	1	83	395	553	1	216	483	331	1,032	589
女 性	40～44 歳	66	3	5	58	0	3	7	56	0	6	57	3	66	28
	45～49 歳	60	0	3	57	0	1	3	56	0	3	50	7	60	22
	50～54 歳	69	4	6	59	0	4	11	54	0	5	56	8	69	29
	55～59 歳	92	9	6	77	0	14	10	68	0	5	82	5	92	43
	60～64 歳	199	9	13	177	0	8	28	163	0	7	181	11	199	70
	65～69 歳	446	41	35	370	0	0	95	351	0	10	419	17	446	166
	70～74 歳	578	59	34	485	0	0	123	455	0	11	538	29	578	224
計		1,510	125	102	1,283	0	30	277	1,203	0	47	1,383	80	1,510	582
合 計		2,542	402	297	1,842	1	113	672	1,756	1	263	1,866	411	2,542	1,171

表 11-(2) 特定健診の実施成績 (2 / 3)

	年 齢 階 級	受 診 者 数	血 圧		尿 検 査		肝 機 能		脂 質		血 糖		貧 血	
			実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	52	52	20	52	6	52	28	52	32	52	10	52	2
	45～49 歳	55	55	26	55	7	55	26	55	36	55	17	55	3
	50～54 歳	56	56	23	56	8	56	26	56	37	56	17	56	5
	55～59 歳	53	53	25	53	12	53	26	53	37	53	16	53	4
	60～64 歳	110	110	55	110	25	110	47	110	65	110	46	110	8
	65～69 歳	286	286	177	286	54	286	96	286	176	286	146	285	24
	70～74 歳	420	420	248	420	85	420	143	420	238	420	212	419	54
	計	1,032	1,032	574	1,032	197	1,032	392	1,032	621	1,032	464	1,030	100
女 性	40～44 歳	66	66	13	66	5	66	8	66	21	66	11	51	11
	45～49 歳	60	60	5	60	2	60	9	60	28	60	11	46	15
	50～54 歳	69	69	20	69	7	69	13	69	38	69	17	56	8
	55～59 歳	92	92	37	91	7	92	24	92	69	92	31	80	8
	60～64 歳	199	199	74	199	7	199	30	199	149	199	68	185	19
	65～69 歳	446	446	225	446	27	446	72	446	317	446	185	426	39
	70～74 歳	578	578	310	578	54	578	90	578	402	578	301	564	74
	計	1,510	1,510	684	1,509	109	1,510	246	1,510	1,024	1,510	624	1,408	174
合 計		2,542	2,542	1,258	2,541	306	2,542	638	2,542	1,645	2,542	1,088	2,438	274

表 11-(2) 特定健診の実施成績 (3 / 3)

	年 齢 階 級	受 診 者 数	腎 機 能		心 電 図		眼 底	
			実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	52	52	0	51	4	5	2
	45～49 歳	55	55	3	55	6	4	3
	50～54 歳	56	56	7	56	10	9	7
	55～59 歳	53	53	8	53	9	7	4
	60～64 歳	110	110	25	108	21	16	12
	65～69 歳	286	285	72	282	67	44	32
	70～74 歳	420	419	151	416	130	64	50
	計	1,032	1,030	266	1,021	247	149	110
女 性	40～44 歳	66	51	1	51	3	2	0
	45～49 歳	60	46	2	45	6	2	0
	50～54 歳	69	56	3	55	5	4	1
	55～59 歳	92	80	12	79	13	11	9
	60～64 歳	199	185	37	185	26	18	13
	65～69 歳	446	426	97	423	83	53	37
	70～74 歳	578	564	176	562	121	75	54
	計	1,510	1,408	328	1,400	257	165	114
合 計		2,542	2,438	594	2,421	504	314	224

ケ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診（骨密度検査）の受診者数とその結果は表 12 に示すとおりであった。
 有所見率は 54.9%で、前年度 47.8%と比べて 7.1 ポイント増加した。

表 12 骨粗しょう症検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～39 歳	0	—	—
	40～44 歳	0	—	—
	45～49 歳	0	—	—
	50～54 歳	0	—	—
	55～59 歳	0	—	—
	60～64 歳	0	—	—
	65～69 歳	0	—	—
	70～74 歳	0	—	—
	75 歳～	0	—	—
	計	0	—	—
女 性	～39 歳	2	0	0.0
	40～44 歳	12	2	16.7
	45～49 歳	9	2	22.2
	50～54 歳	12	2	16.7
	55～59 歳	16	5	31.3
	60～64 歳	25	15	60.0
	65～69 歳	26	18	69.2
	70～74 歳	58	43	74.1
	75 歳～	43	32	74.4
	計	203	119	58.6
合 計		203	119	58.6

2-4. 職域保健事業

ア) 胃がん検診

胃がん検診の受診者数とその結果は表 13 に示すとおりであった。要精検率は 2.9%で、前年度 4.5%と比べて 1.6 ポイント減少した。

精検受診率は 32.6%であった。

表 13 胃がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果														
						食 道 が ん	食 道 潰 瘍	食 道 そ の 他	胃 が ん	胃 潰 瘍	胃 ポ リ ー プ	粘 膜 下 潰 瘍	巨 大 皺 壁	萎 縮 性 胃 炎	び らん 性 胃 炎	胃 そ の 他	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 他	異 常 な し	
男	～39 歳	1,990	37	1.9	9	24.3	0	0	2	0	0	1	0	0	5	2	1	0	1	1
性	40～44 歳	1,977	43	2.2	16	37.2	0	0	2	0	0	2	0	0	6	4	3	2	0	3
	45～49 歳	2,092	56	2.7	18	32.1	0	0	2	0	1	2	1	0	7	1	1	2	1	6
	50～54 歳	2,536	73	2.9	15	20.6	0	0	3	0	0	2	0	0	3	5	4	0	1	2
	55～59 歳	1,856	57	3.1	16	28.1	0	0	4	0	0	3	1	0	10	2	2	2	1	1
	60～64 歳	1,478	66	4.5	27	40.9	0	0	2	0	3	7	1	0	14	3	3	1	2	1
	65～69 歳	706	54	7.6	22	40.7	0	0	6	0	0	5	0	0	12	6	0	2	1	3
	70～74 歳	324	25	7.7	7	28.0	0	0	3	0	0	1	0	0	2	1	0	0	2	2
	75～79 歳	36	4	11.1	1	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	80 歳～	7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	13,002	415	3.2	131	31.6	0	0	24	0	4	23	3	0	59	25	14	9	9	19
女	～39 歳	503	10	2.0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
性	40～44 歳	623	10	1.6	4	40.0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	1
	45～49 歳	749	8	1.1	4	50.0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0
	50～54 歳	862	18	2.1	6	33.3	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1	2
	55～59 歳	672	16	2.4	5	31.3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1
	60～64 歳	482	13	2.7	6	46.2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1
	65～69 歳	228	7	3.1	5	71.4	0	0	1	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	1
	70～74 歳	80	6	7.5	2	33.3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	75～79 歳	8	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	4,209	88	2.1	33	37.5	0	0	2	0	0	8	2	0	12	7	1	0	3	7
合 計		17,211	503	2.9	164	32.6	0	0	26	0	4	31	5	0	71	32	15	9	12	26

イ) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の受診者数とその結果は表 14 に示すとおりであった。

要精検率は 3.6% (NILM*を除いた場合は 0.9%) で、前年度 4.0% と比べて 0.4 ポイント減少した。NILM は 55 人。

精検受診率は 42.5%、子宮がんは 1 人であった。

※Negative for Intraepithelial Lesion or Malignancy: 推定病理診断「非腫瘍性病変 HPV 感染以外の炎症所見」の意。出典 「ベゼスタシステムの基礎と実践－その理解のために」日本細胞診断学推進協会細胞検査士会

表 14 子宮頸がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	要 精 検 率 % ※1	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果			
							子 宮 が ん	異 形 成	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～24 歳	95	6	6.3	5.3	3	50.0	0	1	2	0
25～29 歳	174	11	6.3	1.1	4	36.4	0	1	3	0
30～34 歳	188	7	3.7	1.1	3	42.9	0	0	2	1
35～39 歳	197	11	5.6	1.0	5	45.5	0	1	3	1
40～44 歳	266	11	4.1	1.1	3	27.3	0	1	1	1
45～49 歳	323	12	3.7	0.9	7	58.3	0	0	6	1
50～54 歳	297	10	3.4	0.3	4	40.0	1	0	2	1
55～59 歳	213	4	1.9	0.0	1	25.0	0	0	0	1
60～64 歳	155	1	0.6	0.0	1	100.0	0	0	1	0
65～69 歳	98	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
70～74 歳	32	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,038	73	3.6	0.9	31	42.5	1	4	20	6

※1 NILM 除く

ウ) 肺がん検診(エックス線)

肺がん検診(エックス線)の受診者数とその結果は表15に示すとおりであった。

要精検率は2.6%で、前年度2.7%と比べて0.1ポイント減少した。

精検受診率は24.1%であった。

表15 肺がん検診(エックス線)の実施成績

年 齢 階 級		受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	～39 歳	328	7	2.1	4	57.1	0	0	0	0	3	1
	40～44 歳	360	6	1.7	1	16.7	0	0	0	0	0	1
	45～49 歳	367	5	1.4	3	60.0	0	0	0	0	3	0
	50～54 歳	488	14	2.9	2	14.3	0	0	0	0	1	1
	55～59 歳	418	14	3.3	3	21.4	0	0	0	0	2	1
	60～64 歳	371	18	4.9	3	16.7	0	0	0	0	3	0
	65～69 歳	104	6	5.8	1	16.7	0	0	0	0	1	0
	70～74 歳	29	1	3.4	1	100.0	0	0	0	0	1	0
	75～79 歳	9	1	11.1	0	0.0	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
計		2,475	72	2.9	18	25.0	0	0	0	0	14	4
女 性	～39 歳	92	6	6.5	1	16.7	0	0	0	0	0	1
	40～44 歳	365	3	0.8	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	45～49 歳	426	4	0.9	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	50～54 歳	483	10	2.1	2	20.0	0	0	0	0	1	1
	55～59 歳	325	11	3.4	4	36.4	0	0	0	0	2	2
	60～64 歳	233	8	3.4	2	25.0	0	0	0	0	1	1
	65～69 歳	61	2	3.3	1	50.0	0	0	0	0	0	1
	70～74 歳	8	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		1,994	44	2.2	10	22.7	0	0	0	0	4	6
合 計		4,469	116	2.6	28	24.1	0	0	0	0	18	10

エ) 肺がん検診(C T)

肺がん検診(C T) の受診者数とその結果は表 16 に示すとおりであった。

要精検率は 6.2% で、精検受診率は 69.8% であった。

表 16 肺がん検診(C T) の実施成績

年 齢 階 級		受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
							原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	～39 歳	100	3	3.0	2	66.7	0	0	0	0	1	1
	40～44 歳	75	2	2.7	1	50.0	0	0	0	0	1	0
	45～49 歳	102	3	2.9	3	100.0	0	1	0	0	2	0
	50～54 歳	156	10	6.4	5	50.0	0	0	0	0	3	2
	55～59 歳	175	10	5.7	6	60.0	0	1	0	0	2	3
	60～64 歳	116	13	11.2	10	76.9	0	0	0	0	8	2
	65～69 歳	10	1	10.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	70～74 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	2	1	50.0	1	100.0	0	0	0	0	1	0
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		736	43	5.8	28	65.1	0	2	0	0	18	8
女 性	～39 歳	26	3	11.5	2	66.7	0	0	0	0	1	1
	40～44 歳	30	3	10.0	2	66.7	0	0	0	0	1	1
	45～49 歳	41	2	4.9	2	100.0	0	0	0	0	2	0
	50～54 歳	75	5	6.7	5	100.0	0	0	0	0	4	1
	55～59 歳	52	4	7.7	3	75.0	0	0	0	0	3	0
	60～64 歳	48	3	6.3	2	66.7	0	0	0	0	2	0
	65～69 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	1	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		276	20	7.2	16	80.0	0	0	0	0	13	3
合 計		1,012	63	6.2	44	69.8	0	2	0	0	31	11

オ) 肺がん検診(喀痰)

肺がん検診(喀痰)の受診者数とその結果は表 17 に示すとおりであった。

要精検者数は 0 人で前年度 0 人と変化がなかった。

表 17 肺がん検診(喀痰)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						原 発 性 肺 が ん	肺 が ん 疑 い	そ の 他 が ん	肺 結 核	そ の 他 疾 患	異 常 な し
男 性	～39 歳	229	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	40～44 歳	95	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	107	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	199	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	144	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	77	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	34	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	30	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		920	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
女 性	～39 歳	36	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	40～44 歳	34	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	45～49 歳	47	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	50～54 歳	59	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	55～59 歳	12	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64 歳	4	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69 歳	5	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	70～74 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		197	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
合計		1,117	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—

カ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数とその結果は表 18-(1)～(2) に示すとおりであった。

要精検率は 12.7%で、前年度 13.7%と比べて 1.0 ポイント減少した。

表 18-(1) 乳がん検診の実施成績

全体の受診者数(人)	2,514
全体の精検者数(人)	320
全体の要精検率(%)	12.7

表 18-(2) 乳がん検診の実施成績(検査種類別)(1/2)

■マンモグラフィー検査＋乳腺超音波検査

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～29 歳	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
30～34 歳	3	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
35～39 歳	4	1	25.0	0	0.0	—	—	—	—	—
40～44 歳	5	1	20.0	0	0.0	—	—	—	—	—
45～49 歳	9	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
50～54 歳	8	1	12.5	0	0.0	—	—	—	—	—
55～59 歳	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
60～64 歳	7	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
65～69 歳	25	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
70～74 歳	6	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
80 歳～	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
計	69	3	6.0	0	0.0	0	0	0	0	0

■マンモグラフィー検査のみ

受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
					乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
66	2	3.0	1	50.0	0	1	0	0	0
62	2	3.2	2	100.0	0	1	0	0	1
75	5	6.7	2	40.0	0	0	0	0	2
236	23	9.7	15	65.2	0	4	1	2	8
306	24	7.8	16	66.7	0	5	0	4	8
301	22	7.3	10	45.5	0	7	3	0	2
195	16	8.2	10	62.5	0	1	1	0	8
124	8	6.5	5	62.5	0	0	0	1	4
64	7	10.9	5	71.4	0	1	1	0	3
19	2	10.5	1	50.0	0	1	0	0	0
2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,450	111	7.7	67	60.4	0	21	6	7	36

表 18-(2) 乳がん検診の実施成績（検査種類別）（2 / 2）

■乳腺超音波検査のみ

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果				
						乳 が ん	乳 腺 症	線 維 腺 腫	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～29 歳	192	3	1.6	1	33.3	0	1	0	0	0
30～34 歳	166	10	6.0	3	30.0	0	1	0	1	1
35～39 歳	189	10	5.3	6	60.0	2	4	0	0	0
40～44 歳	76	5	6.6	1	20.0	0	0	0	0	1
45～49 歳	78	3	3.8	3	100.0	0	0	2	0	1
50～54 歳	73	1	1.4	1	100.0	0	0	0	1	0
55～59 歳	65	1	1.5	0	0.0	—	—	—	—	—
60～64 歳	68	1	1.5	1	100.0	0	0	1	0	0
65～69 歳	46	3	6.5	3	100.0	1	1	0	1	0
70～74 歳	42	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
75～79 歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80 歳～	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	995	37	3.7	19	51.4	3	7	3	3	3

キ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数とその結果は表 19 に示すとおりであった。要精検率は 4.1% で、前年度 4.0% と比べて 0.1 ポイント増加した。

精検受診率は 34.2%、がんの陽性反応的中率は 1.24% であった。

表 19 大腸がん検診の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						大 腸 が ん	ポ リ プ	憩 室	そ の 他 疾 患	異 常 な し	
男 性	～39 歳	3,750	121	3.2	32	26.4	0	13	2	3	15
	40～44 歳	3,678	95	2.6	26	27.4	1	13	2	7	6
	45～49 歳	4,025	154	3.8	49	31.8	1	28	5	4	18
	50～54 歳	4,418	165	3.7	62	37.6	3	35	8	15	12
	55～59 歳	3,148	156	5.0	47	30.1	0	33	6	10	5
	60～64 歳	2,588	135	5.2	41	30.4	0	28	8	12	4
	65～69 歳	1,659	115	6.9	46	40.0	5	37	9	8	2
	70～74 歳	1,012	78	7.7	28	35.9	2	17	8	6	2
	75～79 歳	169	15	8.9	9	60.0	2	4	0	0	3
	80 歳～	28	2	7.1	0	—	—	—	—	—	—
計	24,475	1,036	4.2	340	32.8	14	208	48	65	67	
女 性	～39 歳	1,369	66	4.8	20	30.3	0	5	1	6	9
	40～44 歳	1,336	62	4.6	24	38.7	0	12	1	8	7
	45～49 歳	1,703	69	4.1	23	33.3	0	12	2	6	6
	50～54 歳	2,056	59	2.9	20	33.9	0	8	4	5	6
	55～59 歳	1,775	56	3.2	23	41.1	1	14	1	5	5
	60～64 歳	1,433	44	3.1	20	45.5	1	11	5	5	4
	65～69 歳	847	35	4.1	14	40.0	2	8	1	2	4
	70～74 歳	430	18	4.2	9	50.0	0	6	2	4	0
	75～79 歳	47	6	12.8	3	50.0	0	3	0	0	0
	80 歳～	11	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
計	11,007	415	3.8	156	37.6	4	79	17	41	41	
合計	35,482	1,451	4.1	496	34.2	18	287	65	106	108	

ク) 特定健診

特定検診の受診者数とその結果は表 20-(1)～(2) に示すとおりであった。

メタボリックシンドローム判定の基準該当割合は 15.7%で、前年度 15.5%と比べて 0.2 ポイント増加した。

表 20-(1) 基準該当割合

基準該当者数(人)	3,472
受診者数(人)	22,124
基準該当割合(%)	15.7

表 20-(2) 特定健診の実施成績 (1/3)

年 齢 階 級		受 診 者 数	メタボリックシンドローム				階 層 化				た ば こ			肥 満 度	
			基 準 該 当	予 備 軍 該 当	非 該 当	判 定 不 能	積 極 的 支 援	動 機 付 け 支 援	情 報 提 供	判 定 不 能	吸 う	吸 わ ない	以 前 は 吸 っ て い た	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	2,760	323	442	1,993	2	531	306	1,921	2	1,091	1,291	378	2,759	1,259
	45～49 歳	2,899	418	494	1,985	2	647	354	1,896	2	1,102	1,313	484	2,899	1,416
	50～54 歳	3,497	694	642	2,160	1	928	487	2,081	1	1,219	1,554	723	3,497	1,821
	55～59 歳	2,327	576	422	1,328	1	650	353	1,321	3	764	1,025	538	2,327	1,256
	60～64 歳	1,738	493	303	941	1	483	292	963	0	501	772	465	1,738	977
	65～69 歳	1,083	307	188	587	1	0	489	593	1	265	474	344	1,082	594
	70～74 歳	724	227	112	385	0	0	329	394	1	143	338	243	724	402
計		15,028	3,038	2,603	9,379	8	3,239	2,610	9,169	10	5,085	6,767	3,175	15,026	7,725
女 性	40～44 歳	1,111	23	32	1,053	3	35	76	997	3	70	960	81	1,111	374
	45～49 歳	1,354	43	50	1,260	1	47	106	1,200	1	87	1,160	107	1,354	400
	50～54 歳	1,494	79	63	1,352	0	83	142	1,269	0	102	1,287	105	1,494	496
	55～59 歳	1,230	76	78	1,076	0	75	143	1,012	0	67	1,123	40	1,230	461
	60～64 歳	985	97	62	825	1	70	132	782	1	42	898	45	985	360
	65～69 歳	626	78	46	502	0	0	146	480	0	27	569	30	626	238
	70～74 歳	296	38	16	242	0	0	72	224	0	16	269	11	296	120
計		7,096	434	347	6,310	5	310	817	5,964	5	411	6,266	419	7,096	2,449
合 計		22,124	3,472	2,950	15,689	13	3,549	3,427	15,133	15	5,496	13,033	3,594	22,122	10,174

表 20-(2) 特定健診の実施成績 (2 / 3)

	年 齢 階 級	受 診 者 数	血 圧		尿 検 査		肝 機 能		脂 質		血 糖		貧 血	
			実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	2,760	2,760	1,003	2,758	270	2,759	1,208	2,759	1,789	2,758	463	2,697	40
	45～49 歳	2,899	2,899	1,247	2,895	319	2,898	1,301	2,898	1,978	2,898	684	2,831	52
	50～54 歳	3,497	3,497	1,714	3,493	431	3,493	1,631	3,493	2,369	3,492	1,089	3,420	100
	55～59 歳	2,327	2,326	1,236	2,319	370	2,324	999	2,324	1,540	2,323	875	2,288	100
	60～64 歳	1,738	1,738	1,010	1,734	294	1,736	728	1,736	1,103	1,734	764	1,700	114
	65～69 歳	1,083	1,083	653	1,083	200	1,080	409	1,080	673	1,080	525	1,056	81
	70～74 歳	724	724	465	724	151	723	280	723	429	723	382	712	80
	計	15,028	15,027	7,328	15,006	2,035	15,013	6,556	15,013	9,881	15,008	4,782	14,704	567
女 性	40～44 歳	1,111	1,111	169	1,107	63	1,110	112	1,110	438	1,108	72	1,039	249
	45～49 歳	1,354	1,354	304	1,350	74	1,354	169	1,354	657	1,353	128	1,282	283
	50～54 歳	1,494	1,494	468	1,494	78	1,492	281	1,492	1,000	1,491	247	1,434	153
	55～59 歳	1,230	1,230	418	1,227	61	1,229	244	1,229	882	1,229	245	1,156	78
	60～64 歳	985	985	423	985	49	983	193	983	716	983	275	910	64
	65～69 歳	626	626	327	626	41	626	129	626	417	626	209	564	47
	70～74 歳	296	296	179	296	19	296	46	296	186	296	123	261	35
	計	7,096	7,096	2,288	7,085	385	7,090	1,174	7,090	4,296	7,086	1,299	6,646	909
合 計		22,124	22,123	9,616	22,091	2,420	22,103	7,730	22,103	14,177	22,094	6,081	21,350	1,476

表 20-(2) 特定健診の実施成績 (3 / 3)

	年 齢 階 級	受 診 者 数	腎 機 能		心 電 図		眼 底	
			実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数	実 施 数	有 所 見 者 数
男 性	40～44 歳	2,760	1,969	85	2,759	186	816	336
	45～49 歳	2,899	2,064	130	2,897	273	772	366
	50～54 歳	3,497	2,155	278	3,494	513	844	496
	55～59 歳	2,327	1,416	260	2,325	399	546	365
	60～64 歳	1,738	951	245	1,736	363	307	237
	65～69 歳	1,083	682	199	1,073	267	151	107
	70～74 歳	724	445	149	718	220	159	105
	計	15,028	9,682	1,346	15,002	2,221	3,595	2,012
女 性	40～44 歳	1,111	620	20	1,036	52	265	66
	45～49 歳	1,354	733	39	1,280	86	292	108
	50～54 歳	1,494	747	74	1,432	156	249	113
	55～59 歳	1,230	580	103	1,157	155	164	84
	60～64 歳	985	474	104	918	143	95	58
	65～69 歳	626	290	85	563	127	114	68
	70～74 歳	296	171	59	258	66	55	37
	計	7,096	3,615	484	6,644	785	1,234	534
合 計		22,124	13,297	1,830	21,646	3,006	4,829	2,546

ケ) 腹部超音波検診

腹部超音波検診の受診者数とその結果は表 21 に示すとおりであった。要精検率は 5.1%で、前年度 3.2%と比べて 1.9 ポイント増加した。

精検受診率は 27.2%であった。

表 21 腹部超音波検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	肝 臓						腎 臓			すい臓		胆 の う			脾 臓		そ の 他
							脂 肪 肝	石 灰 化	の う 胞	肝 硬 変	血 管 腫	そ の 他	結 石	の う 胞	そ の 他	の う 胞	そ の 他	胆 石	ポリ ー プ	そ の 他	の う 胞	そ の 他	
男 性	～39 歳	1,062	37	3.5	3	8.1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	40～44 歳	870	24	2.8	4	16.7	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	45～49 歳	794	32	4.0	3	9.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	50～54 歳	870	44	5.1	9	20.5	2	0	0	0	0	0	3	2	1	0	2	1	0	1	0	0	0
	55～59 歳	589	52	8.8	8	15.4	0	0	1	0	0	0	2	2	2	0	1	1	2	1	0	0	0
	60～64 歳	399	26	6.5	8	30.8	2	0	1	0	1	1	2	2	1	0	0	2	1	2	0	0	0
	65～69 歳	231	25	10.8	7	28.0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0
	70～74 歳	185	21	11.4	12	57.1	1	0	0	0	0	2	2	4	1	0	2	1	0	3	0	0	0
	75 歳～	12	5	41.7	5	100.0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	0	1	0
計		5,012	266	5.3	59	22.2	10	0	4	1	2	3	12	12	6	0	8	9	5	12	0	2	0
女 性	～39 歳	385	9	2.3	4	44.4	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	40～44 歳	372	10	2.7	4	40.0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49 歳	433	15	3.5	2	13.3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	50～54 歳	431	16	3.7	8	50.0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0
	55～59 歳	303	21	6.9	5	23.8	1	0	1	0	1	0	1	2	0	0	0	2	1	1	0	0	1
	60～64 歳	186	16	8.6	5	31.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0
	65～69 歳	164	16	9.8	14	87.5	4	0	5	0	1	0	0	3	2	1	2	3	2	5	0	1	1
	70～74 歳	90	10	11.1	2	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0
	75 歳～	2	0	0.0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		2,366	113	4.8	44	38.9	6	0	8	0	4	1	4	6	5	3	7	9	4	9	0	2	3
合 計		7,378	379	5.1	103	27.2	16	0	12	1	6 ⁴²	4	16	18	11	3	15	18	9	21	0	4	3

コ) 前立腺がん検診

前立腺がん検診(PSA 測定)の受診者数とその結果は表 22 に示すとおりであった。要精検率は 2.4%で、前年度の 2.7%と比べて 0.3 ポイント減少した。

精検受診率は 12.9%、前立腺がん疑いが 2 名であった。

表 22 前立腺がん検診(PSA 測定)の実施成績

年 齢 階 級	受 診 者 数	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 検 結 果					
						前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑	前 立 腺 炎	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他 疾 患	異 常 な し
～39 歳	712	0	0.0	—	—	0	0	0	0	0	0
40～44 歳	542	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0	0	0
45～49 歳	743	7	0.9	1	14.3	0	0	1	0	0	0
50～54 歳	2,574	27	1.0	5	18.5	0	0	0	3	0	2
55～59 歳	1,670	32	1.9	5	15.6	0	0	0	3	0	2
60～64 歳	1,307	51	3.9	6	11.8	0	1	0	4	0	1
65～69 歳	714	47	6.6	6	12.8	0	1	0	5	0	0
70～74 歳	465	37	8.0	3	8.1	0	0	0	2	1	0
75～79 歳	81	6	7.4	1	16.7	0	0	1	0	0	0
80 歳～	8	1	12.5	0	0.0	0	0	0	0	0	0
計	8,816	209	2.4	27	12.9	0	2	2	17	1	5

サ) 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診（骨密度検査）の受診者数とその結果は表 23 に示すとおりであった。
 有所見率は 22.0%で、前年度の 17.5%と比べて 2.5 ポイント増加した。

表 23 骨粗しょう症検診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～39 歳	67	5	7.5
	40～44 歳	33	8	24.2
	45～49 歳	41	5	12.2
	50～54 歳	71	16	22.5
	55～59 歳	21	5	23.8
	60～64 歳	12	4	33.3
	65～69 歳	1	0	0.0
	70～74 歳	1	0	0.0
	75 歳～	1	1	100.0
	計	248	44	17.7
女 性	～39 歳	40	7	17.5
	40～44 歳	42	4	9.5
	45～49 歳	50	10	20.0
	50～54 歳	67	14	20.9
	55～59 歳	15	10	66.7
	60～64 歳	12	6	50.0
	65～69 歳	1	0	0.0
	70～74 歳	0	—	—
	75 歳～	0	—	—
	計	227	51	22.5
合 計		475	95	20.0

シ) 特殊健康診断

特殊健康診断の受診者数は表 24、表 25 に示すとおりであった。

表 24 法令に基づく特殊健康診断の実施状況

種 別	人 数
じん肺健康診断	2,454
石綿健康診断	1,116
有機溶剤健康診断	9,425
鉛健康診断	412
電離放射線健康診断	783
特定化学物質健康診断	22,645
高気圧業務健康診断	19
酸等の有害物質取扱い従事者の歯科健康診断	572

表 25 行政指導による特殊健康診断の実施状況

種 別	人 数
情報機器作業健康診断	13,544
騒音作業健康診断	5,214
腰痛作業健康診断	365
振動業務健康診断（チェンソー・手持振動工具等）	145
有害光線健康診断（紫外線・赤外線・レーザー光線等）	1,597

ス) アレルギー検査

2023 年度からオプション検査としてアレルギー検査を実施した。受診者数は表 26 に示すとおりであった。

表 26 アレルギー検査

種 別	人 数
A：家庭内（カビ、ダニ、ネコ等）	54
B：花 粉（スギ、ヒノキ等）	90
C：食 物（牛乳、カニ、ソバ等）	49
D：上記＋動物、昆虫、職業性項目内の 39 項目	381
計	574

セ) 労災二次健診

労災二次健診の受診者数は 391 人で、前年度 257 人に比べる 134 人の増加となった。今年度の結果については表 27 に示すとおりであった。

表 27 労災二次健診の実施成績

	年 齢 階 級	受 診 者 数	有 所 見 者 数						尿中アルブミン	
			脂 質	エ ド 「 」 」	「 」 」 」	血 糖	頸 部 エ コ 」	心 エ コ 」	受 診 者 数	有 所 見 者 数
男 性	～39 歳	57	4	12	23	24	1	6	9	7
	40～44 歳	41	8	7	21	18	2	2	4	3
	45～49 歳	52	6	6	24	22	11	6	7	5
	50～54 歳	85	10	8	30	39	11	11	10	9
	55～59 歳	58	4	4	25	23	21	13	9	4
	60～64 歳	60	6	4	23	23	21	10	5	5
	65 歳～	13	1	0	3	4	5	5	2	2
	計	366	39	41	149	153	72	53	46	35
女 性	～39 歳	3	0	2	1	1	0	0	0	—
	40～44 歳	2	0	0	0	0	0	0	0	—
	45～49 歳	4	0	0	3	1	1	1	0	—
	50～54 歳	5	0	0	3	1	0	1	0	—
	55～59 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	—
	60～64 歳	4	0	0	3	4	2	0	0	—
	65 歳～	6	0	0	3	2	2	1	0	—
	計	25	0	2	13	9	5	3	0	—
合 計		391	39	43	162	162	77	56	46	35

ソ) 血液検査

血液検査の受診者数とその結果は表 28 に示すとおりであった。

表 28 血液検査の実施成績 (1/4)

年 齡 階 級	肝 機 能			脂 質			貧 血			血 糖			血 球 数			
	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	
男 性	～29 歳	10,691	2,581	24.1	10,890	2,894	26.6	10,884	498	4.6	10,846	527	4.9	6,322	395	6.2
	30～34 歳	5,873	1,813	30.9	6,026	2,090	34.7	5,904	246	4.2	6,005	357	5.9	3,297	217	6.6
	35～39 歳	5,952	1,931	32.4	6,200	2,529	40.8	6,077	282	4.6	6,151	485	7.9	4,260	321	7.5
	40～44 歳	6,185	1,935	31.3	6,335	2,790	44.0	6,189	361	5.8	6,297	609	9.7	4,196	332	7.9
	45～49 歳	6,978	2,138	30.6	7,135	3,359	47.1	6,908	432	6.3	7,105	1,046	14.7	4,554	375	8.2
	50～54 歳	7,890	2,560	32.4	8,045	3,762	46.8	7,816	626	8.0	8,017	1,672	20.9	5,054	400	7.9
	55～59 歳	5,673	1,736	30.6	5,745	2,632	45.8	5,590	643	11.5	5,742	1,554	27.1	3,426	251	7.3
	60～64 歳	4,572	1,264	27.6	4,645	1,998	43.0	4,546	591	13.0	4,636	1,466	31.6	2,644	201	7.6
	65～69 歳	3,110	716	23.0	3,159	1,308	41.4	3,183	467	14.7	3,162	1,097	34.7	1,817	122	6.7
	70 歳～	2,542	557	21.9	2,544	963	37.9	2,563	590	23.0	2,563	1,047	40.9	1,394	75	5.4
計	59,466	17,231	29.0	60,724	24,325	40.1	59,660	4,736	7.9	60,524	9,860	16.3	36,964	2,689	7.3	
女 性	～29 歳	6,083	273	4.5	6,101	1,148	18.8	6,306	899	14.3	6,099	178	2.9	2,498	282	11.3
	30～34 歳	2,598	175	6.7	2,578	603	23.4	2,554	458	17.9	2,578	110	4.3	878	71	8.1
	35～39 歳	2,369	186	7.9	2,374	587	24.7	2,360	557	23.6	2,373	112	4.7	1,181	111	9.4
	40～44 歳	2,761	226	8.2	2,757	756	27.4	2,729	686	25.1	2,757	166	6.0	1,415	118	8.3
	45～49 歳	3,438	321	9.3	3,419	1,217	35.6	3,400	830	24.4	3,419	261	7.6	1,782	126	7.1
	50～54 歳	3,934	560	14.2	3,933	1,932	49.1	3,903	589	15.1	3,935	478	12.1	1,952	148	7.6
	55～59 歳	3,277	494	15.1	3,275	1,745	53.3	3,259	314	9.6	3,277	513	15.7	1,461	73	5.0
	60～64 歳	2,767	388	14.0	2,766	1,481	53.5	2,753	282	10.2	2,769	500	18.1	1,246	46	3.7
	65～69 歳	1,732	240	13.9	1,725	857	49.7	1,726	208	12.1	1,730	394	22.8	886	41	4.6
	70 歳～	1,442	296	20.5	1,447	579	40.0	1,452	371	25.6	1,460	427	29.2	759	57	7.5
計	30,401	3,159	10.4	30,375	10,905	35.9	30,442	5,194	17.1	30,397	3,139	10.3	14,058	1,073	7.6	
合 計		89,867	20,390	22.7	91,099	35,230	38.7	90,102	9,930	11.0	90,921	12,999	14.3	51,022	3,762	7.4

表 28 血液検査の実施成績（2 / 4）

	年 齢 階 級	腎 機 能			脾 機 能			尿 酸			ペプシノゲン検査			NT-proBNP		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	6,365	338	5.3	2,999	388	12.9	6,604	550	8.3	112	0	0.0	89	1	1.1
	30～34 歳	3,705	208	5.6	1,885	244	12.9	3,888	418	10.8	40	0	0.0	110	4	3.6
	35～39 歳	4,421	303	6.9	1,689	230	13.6	4,705	485	10.3	38	0	0.0	168	12	7.1
	40～44 歳	4,646	391	8.4	1,435	205	14.3	4,734	474	10.0	90	2	2.2	301	18	6.0
	45～49 歳	5,143	508	9.9	1,471	198	13.5	5,264	481	9.1	87	0	0.0	439	34	7.7
	50～54 歳	5,755	798	13.9	1,777	242	13.6	5,963	475	8.0	114	2	1.8	602	57	9.5
	55～59 歳	4,242	751	17.7	1,557	196	12.6	4,288	356	8.3	84	0	0.0	465	86	18.5
	60～64 歳	3,368	856	25.4	1,266	171	13.5	3,396	284	8.4	62	3	4.8	371	94	25.3
	65～69 歳	2,275	605	26.6	650	71	10.9	2,284	147	6.4	35	3	8.6	322	123	38.2
	70 歳～	1,602	544	34.0	340	38	11.2	1,629	102	6.3	21	1	4.8	275	138	50.2
	計	41,522	5,302	12.8	15,069	1,983	13.2	42,755	3,772	8.8	683	11	1.6	3,142	567	18.0
女 性	～29 歳	3,140	270	8.6	1,446	137	9.5	2,782	21	0.8	33	3	9.1	66	26	39.4
	30～34 歳	1,532	108	7.0	676	52	7.7	1,412	14	1.0	36	0	0.0	80	28	35.0
	35～39 歳	1,623	106	6.5	601	54	9.0	1,538	22	1.4	27	2	7.4	147	46	31.3
	40～44 歳	1,923	166	8.6	775	88	11.4	1,774	28	1.6	42	0	0.0	245	61	24.9
	45～49 歳	2,478	275	11.1	1,024	113	11.0	2,308	21	0.9	52	2	3.8	310	98	31.6
	50～54 歳	2,768	398	14.4	1,110	125	11.3	2,586	33	1.3	63	1	1.6	346	103	29.8
	55～59 歳	2,282	448	19.6	946	91	9.6	2,122	30	1.4	34	0	0.0	293	102	34.8
	60～64 歳	1,950	450	23.1	681	88	12.9	1,788	23	1.3	26	0	0.0	278	128	46.0
	65～69 歳	1,160	270	23.3	307	44	14.3	1,042	20	1.9	13	2	15.4	192	95	49.5
	70 歳～	778	252	32.4	83	8	9.6	716	19	2.7	9	1	11.1	143	95	66.4
	計	19,634	2,743	14.0	7,649	800	10.5	18,068	231	1.3	335	11	3.3	2,100	782	37.2
合 計		61,156	8,045	13.2	22,718	2,783	12.3	60,823	4,003	6.6	1,018	22	2.2	5,242	1,349	25.7

表 28 血液検査の実施成績（3 / 4）

年 齢 階 級	C 型 肝 炎			ピロリ菌抗体			C A 19-9			C A 125			C E A		
	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性															
～29 歳	260	0	0.0	157	17	10.8	179	1	0.6	—	—	—	147	3	2.0
30～34 歳	130	0	0.0	49	10	20.4	160	1	0.6	—	—	—	151	0	0.0
35～39 歳	232	1	0.4	142	29	20.4	239	4	1.7	—	—	—	242	5	2.1
40～44 歳	233	1	0.4	63	19	30.2	382	6	1.6	—	—	—	400	11	2.8
45～49 歳	231	1	0.4	71	12	16.9	548	10	1.8	—	—	—	571	27	4.7
50～54 歳	257	0	0.0	128	27	21.1	734	22	3.0	—	—	—	783	31	4.0
55～59 歳	113	0	0.0	82	20	24.4	538	9	1.7	—	—	—	568	29	5.1
60～64 歳	70	1	1.4	49	14	28.6	453	21	4.6	—	—	—	466	35	7.5
65～69 歳	38	0	0.0	55	11	20.0	371	19	5.1	—	—	—	404	23	5.7
70 歳～	35	0	0.0	41	11	26.8	300	32	10.7	—	—	—	304	21	6.9
計	1,599	4	0.3	837	170	20.3	3,904	125	3.2	—	—	—	4,036	185	4.6
女 性															
～29 歳	290	0	0.0	53	15	28.3	86	6	7.0	107	6	5.6	85	0	0.0
30～34 歳	48	0	0.0	38	5	13.2	88	3	3.4	119	2	1.7	85	0	0.0
35～39 歳	71	0	0.0	66	19	28.8	162	6	3.7	192	8	4.2	165	1	0.6
40～44 歳	88	0	0.0	68	14	20.6	242	14	5.8	268	11	4.1	260	1	0.4
45～49 歳	112	0	0.0	90	28	31.1	307	12	3.9	339	9	2.7	324	2	0.6
50～54 歳	117	1	0.9	87	24	27.6	343	14	4.1	374	8	2.1	372	11	3.0
55～59 歳	67	0	0.0	61	13	21.3	308	17	5.5	328	0	0.0	338	11	3.3
60～64 歳	51	0	0.0	40	10	25.0	282	20	7.1	307	2	0.7	295	6	2.0
65～69 歳	28	0	0.0	33	10	30.3	198	11	5.6	210	0	0.0	210	6	2.9
70 歳～	21	0	0.0	12	7	58.3	145	16	11.0	148	0	0.0	147	5	3.4
計	893	1	0.1	548	145	26.5	2,161	119	5.5	2,392	46	1.9	2,281	43	1.9
合 計	2,492	5	0.2	1,385	315	22.7	6,065	244	4.0	2,392	46	1.9	6,317	228	3.6

表 28 血液検査の実施成績（４／４）

	年 齢 階 級	甲 状 腺		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	5	0	0.0
	30～34 歳	8	0	0.0
	35～39 歳	8	0	0.0
	40～44 歳	16	0	0.0
	45～49 歳	22	0	0.0
	50～54 歳	28	2	7.1
	55～59 歳	29	1	3.4
	60～64 歳	15	2	13.3
	65～69 歳	12	1	8.3
	70 歳～	6	0	0.0
計		149	6	4.0
女 性	～29 歳	21	1	4.8
	30～34 歳	24	3	12.5
	35～39 歳	20	2	10.0
	40～44 歳	32	1	3.1
	45～49 歳	43	0	0.0
	50～54 歳	38	2	5.3
	55～59 歳	33	1	3.0
	60～64 歳	24	2	8.3
	65～69 歳	12	0	0.0
	70 歳～	10	0	0.0
計		257	12	4.7
合 計		406	18	4.4

タ) その他検査

その他検査の受診者数とその結果は表 30 に示すとおりであった。

また、前年度との有所見率の比較は表 29 に示すとおりであった。

表 29 その他検査の有所見率の前年度との比較

	有 所 見 率（％）		変化度
	2024 年度	2023 年度	
心 電 図	11.1	11.3	↓ 0.2
身 体 計 測	42.7	42.7	± 0
血 圧	17.9	18.4	↓ 0.5
尿 一 般 ^{※1}	4.3	4.9	↓ 0.6
尿 糖 検 査	3.7	3.4	↑ 0.3
聴 力 検 査 ^{※2}	7.7	7.9	↓ 0.2
診 察	4.4	3.9	↑ 0.5
胸 部 検 査 ^{※3}	4.3	4.9	↓ 0.6
眼 底 検 査	49.4	31.5	↑ 17.9

※1 尿一般は、蛋白、潜血、ウロビリノゲン、ケトン体、ビリルビンの結果から判定しています。

※2 聴力検査は、オーディオメーターによる検査または会話法による検査の結果から判定しています。

※3 胸部検査は、肺がん検査(エックス線撮影)は含みません。

表 30 その他検査の実施成績（１／２）

年 齡 階 級		心 電 図			計 測			血 圧			尿 一 般			尿 糖		
		受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性	～29 歳	7,985	317	4.0	14,930	4,916	32.9	14,769	861	5.8	14,937	339	2.3	14,937	91	0.6
	30～34 歳	4,317	197	4.6	7,194	3,007	41.8	7,219	650	9.0	7,208	176	2.4	7,208	98	1.4
	35～39 歳	5,669	294	5.2	7,232	3,325	46.0	7,252	1,014	14.0	7,226	182	2.5	7,226	145	2.0
	40～44 歳	6,025	378	6.3	7,180	3,365	46.9	7,190	1,395	19.4	7,163	199	2.8	7,163	194	2.7
	45～49 歳	6,802	643	9.5	7,853	3,983	50.7	7,861	1,884	24.0	7,824	258	3.3	7,824	371	4.7
	50～54 歳	7,674	987	12.9	8,751	4,695	53.7	8,758	2,641	30.2	8,725	404	4.6	8,725	592	6.8
	55～59 歳	5,521	883	16.0	6,055	3,308	54.6	6,059	2,030	33.5	6,033	303	5.0	6,033	565	9.4
	60～64 歳	4,474	925	20.7	4,800	2,675	55.7	4,802	1,712	35.7	4,784	267	5.6	4,784	466	9.7
	65～69 歳	3,110	785	25.2	3,271	1,818	55.6	3,274	1,238	37.8	3,268	224	6.9	3,268	366	11.2
	70 歳～	2,382	790	33.2	2,462	1,384	56.2	2,481	954	38.5	2,527	220	8.7	2,527	352	13.9
計		53,959	6,199	11.5	69,728	32,476	46.6	69,665	14,379	20.6	69,695	2,572	3.7	69,695	3,240	4.6
女 性	～29 歳	4,510	126	2.8	7,847	2,298	29.3	7,788	64	0.8	7,712	395	5.1	7,712	29	0.4
	30～34 歳	1,823	67	3.7	2,865	945	33.0	2,866	84	2.9	2,862	169	5.9	2,862	15	0.5
	35～39 歳	2,240	103	4.6	2,498	843	33.7	2,500	141	5.6	2,489	155	6.2	2,489	18	0.7
	40～44 歳	2,723	146	5.4	2,852	1,024	35.9	2,852	221	7.7	2,845	197	6.9	2,845	33	1.2
	45～49 歳	3,380	282	8.3	3,508	1,139	32.5	3,512	461	13.1	3,500	232	6.6	3,500	48	1.4
	50～54 歳	3,917	439	11.2	4,042	1,470	36.4	4,047	707	17.5	4,038	205	5.1	4,038	92	2.3
	55～59 歳	3,266	464	14.2	3,405	1,332	39.1	3,406	673	19.8	3,400	168	4.9	3,400	92	2.7
	60～64 歳	2,765	470	17.0	2,870	1,093	38.1	2,876	666	23.2	2,871	156	5.4	2,871	93	3.2
	65～69 歳	1,727	370	21.4	1,805	704	39.0	1,809	540	29.9	1,810	96	5.3	1,810	74	4.1
	70 歳～	1,300	400	30.8	1,314	514	39.1	1,327	456	34.4	1,485	113	7.6	1,485	66	4.4
計		27,651	2,867	10.4	33,006	11,362	34.4	32,983	4,013	12.2	33,012	1,886	5.7	33,012	560	1.7
合 計		81,610	9,066	11.1	102,734	43,838	42.7	102,648	18,392	17.9	102,707	4,458	4.3	102,707	3,800	3.7

表 30 その他検査の実施成績（2/2）

年 齢 階 級	聴 力			診 察			胸 部 検 査			眼 底 検 査		
	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %	受 診 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 %
男 性												
～29 歳	14,521	96	0.7	12,722	248	1.9	17,540	179	1.0	262	32	12.2
30～34 歳	7,007	70	1.0	6,030	149	2.5	5,797	80	1.4	126	24	19.0
35～39 歳	6,981	121	1.7	6,011	161	2.7	5,750	138	2.4	1,077	341	31.7
40～44 歳	6,953	269	3.9	6,127	200	3.3	5,981	192	3.2	1,174	499	42.5
45～49 歳	7,693	524	6.8	6,860	254	3.7	6,575	267	4.1	1,257	612	48.7
50～54 歳	8,594	945	11.0	7,622	323	4.2	7,423	403	5.4	1,313	811	61.8
55～59 歳	5,927	1,002	16.9	4,969	262	5.3	5,452	392	7.2	879	630	71.7
60～64 歳	4,727	1,101	23.3	4,007	288	7.2	4,638	407	8.8	565	437	77.3
65～69 歳	3,132	1,075	34.3	2,883	234	8.1	3,174	374	11.8	255	192	75.3
70 歳～	2,212	1,213	54.8	2,270	266	11.7	2,410	463	19.2	208	144	69.2
計	67,747	6,416	9.5	59,501	2,385	4.0	64,740	2,895	4.5	7,116	3,722	52.3
女 性												
～29 歳	7,729	67	0.9	6,918	210	3.0	12,659	196	1.5	110	9	8.2
30～34 歳	2,802	28	1.0	2,505	81	3.2	2,750	57	2.1	64	10	15.6
35～39 歳	2,409	27	1.1	2,196	84	3.8	2,454	55	2.2	242	51	21.1
40～44 歳	2,701	45	1.7	2,496	140	5.6	2,892	65	2.2	402	100	24.9
45～49 歳	3,329	73	2.2	2,993	170	5.7	3,533	112	3.2	489	191	39.1
50～54 歳	3,872	106	2.7	3,456	186	5.4	3,968	208	5.2	474	232	48.9
55～59 歳	3,269	146	4.5	2,940	175	6.0	3,397	220	6.5	275	152	55.3
60～64 歳	2,728	235	8.6	2,527	183	7.2	2,828	265	9.4	190	123	64.7
65～69 歳	1,622	207	12.8	1,645	122	7.4	1,724	200	11.6	156	97	62.2
70 歳～	1,109	289	26.1	1,292	126	9.8	1,156	164	14.2	70	47	67.1
計	31,570	1,223	3.9	28,968	1,477	5.1	37,361	1,542	4.1	2,472	1,012	40.9
合 計	99,317	7,639	7.7	88,469	3,862	4.4	102,101	4,437	4.3	9,588	4,734	49.4

2－5．新生児先天性代謝異常検査

1) 受付検体の内訳

表 31 に示すとおり、県内医療機関 32 施設から提出された検体数は 7,221 人（男児 3,659 人、女児 3,562 人）であった。図 3 に示すとおり、検査件数は年々減少傾向にあり、前年度 7,661 人から更に減少した。

採血時の哺乳状況は、良 6,987 人(96.76%)、不良 146 人(2.02%)、殆ど哺乳不能 51 人(0.71%)、未記入 37 人(0.51%)であった。

2) 出生時体重別検体数

表 32 に示すとおり、2,000 g 未満の低出生体重児は 141 人（1.95%）であった。

また、図 4 に出生時体重別検体数を表した。

表 31 受付検体の内訳

		検体数	%
全	体	7,221	—
性 別	男児	3,659	50.67
	女児	3,562	49.33
	不明	0	0.00
哺乳状態	良	6,987	96.76
	不良	146	2.02
	殆ど哺乳不能	51	0.71
	注入	0	0.00
	絶食	0	0.00
	未記入	37	0.51

表 32 出生時体重別検体

出生時体重 (g)	検体数	%
499 以下	1	0.01
500～999	17	0.24
1,000～1,499	41	0.57
1,500～1,999	82	1.14
2,000～2,499	571	7.91
2,500～2,999	2,765	38.29
3,000～3,499	2,985	41.34
3,500～3,999	699	9.68
4,000～4,499	56	0.78
4,500 以上	4	0.06
2,000 g 以上	7,080	98.05
2,000 g 未満	141	1.95

図 3 検体数の推移

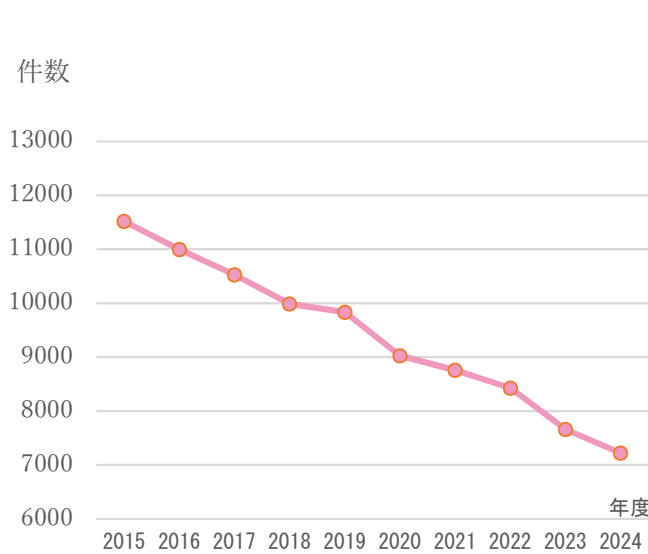
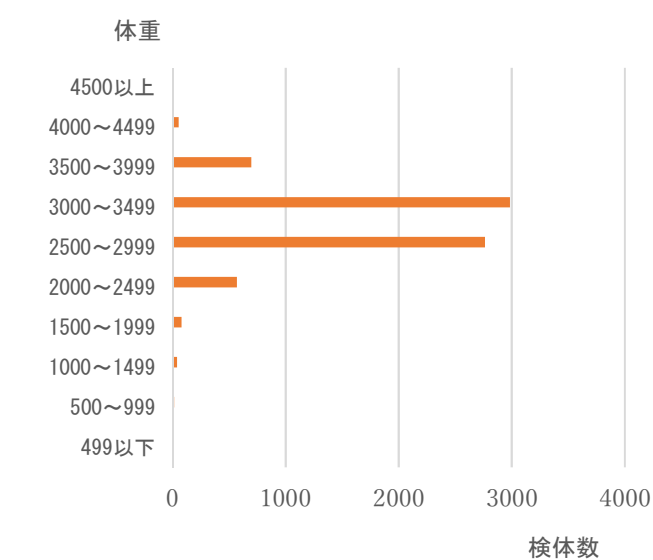


図 4 出生時体重別検体数



3) 初回採血検体の検査結果について

表 33 に示すとおり、対象疾患別再採血率は 0.01～1.63%で、例年どおりであり大きな変化はなかった。

なお 2024 年 4 月 1 日出生の児から重症複合免疫不全症、B 細胞欠損症、脊髄性筋萎縮症の三疾患を対象として拡大マススクリーニング検査を開始した。

表 33 対象疾患別の再採血依頼数 (全 7,221 件中)

対 象 疾 患 名	再採血依頼件数				直接精査依頼件数	
	2,000g 以 上	2,000g 未 満 哺 乳 不 能	計	再採血率 (%)	2,000g 以 上	2,000g 未 満
フェニルケトン尿症	9	1	10	0.14	0	0
メーブルシロップ尿症	4	0	4	0.06	0	0
ホモシスチン尿症	1	0	1	0.01	0	0
ガラクトース血症	32	0	32	0.44	0	1
21-水酸化酵素欠損症	28	41	69	0.96	0	0
先天性甲状腺機能低下症	108	10	118	1.63	2	1
甲状腺機能亢進症	2	0	2	0.02	0	0
その他の代謝異常症	16	4	20	0.28	2	1
重症複合免疫不全症	2	5	7	0.10	0	1
B 細胞欠損症	5	1	6	0.08	1	0
脊髄性筋萎縮症	-	-	-	-	0	0
合 計	※1 207	※2 62	269	3.73	5	4

※1 複数項目 5 名 (うち 3 項目 1 名) 合計 201 名 207 件
 ※2 複数項目 12 名 (うち 3 項目 3 名) 合計 47 名 62 件

4) 2,000 g 未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食の児について

新生児マススクリーニングにおける低出生体重児の採血時期に関する指針では、出生体重が 2,000 g 未満の低出生体重児は、原則的には日齢 4～6 日 (出生当日が日齢 0) で第 1 回目の採血を実施し、さらに①生後 1 か月、②体重が 2,500 g に達した時期、③医療機関を退院する時期のいずれか早い時期に、第 2 回目の採血を実施することが望ましいとされている。また、哺乳不能の場合も一部の疾患では、検査結果が病態を表さない可能性があるため、いずれの場合も 2 回目採血を依頼している。

図 5 に示すとおり、初回採血「正常」で再採血を依頼し 2 回目の検査を行った結果、精密検査となったものが 2 件、院内検査等で follow となったものが 6 件あった。

「異常の疑い」となり、再採血依頼をした結果、精密検査 3 名、院内検査 follow 1 名、死亡 1 名を除き、すべて正常となった。

再採血、再々採血依頼の最終検査結果は表 34 に示すとおりである。

図 5 2,000 g 未満の低出生体重児または殆ど哺乳不能、絶食児の再採血検査結果

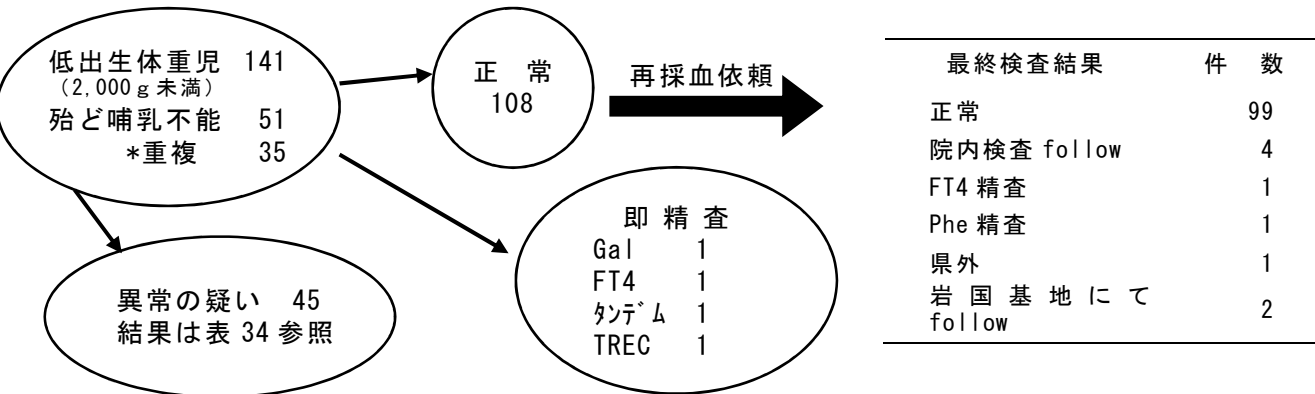


表 34 再採血、再々採血依頼の最終検査結果

対 象 疾 患 名	再 採 血 依頼人数	正 常	精 査	死 亡	院内検査 follow	県 外 follow
先天性甲状腺機能低下症	122	101	14	0	7	0
先天性甲状腺機能低下症 +21-水酸化酵素欠損症	7	6	0	0	1	0
先天性甲状腺機能低下症 +ガラクトース血症	1	1	0	0	0	0
先天性甲状腺機能低下症 +21-水酸化酵素欠損症 +重症複合免疫不全症	3	2	1	0	0	0
先天性甲状腺機能低下症 +メープルシロップ尿症	1	0	0	1	0	0
先天性甲状腺機能低下症 +その他の代謝異常症	1	0	1	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症	59	53	4	0	2	0
21-水酸化酵素欠損症 +その他の代謝異常症	2	2	0	0	0	0
21-水酸化酵素欠損症 +重症複合免疫不全症	2	1	0	1	0	0
ガラクトース血症	33	31	2	0	0	0
フェニルケトン尿症	10	4	6	0	0	0
フェニルケトン尿症 +メープルシロップ尿症 +その他の代謝異常症	1	1	0	0	0	0
メープルシロップ尿症	3	3	0	0	0	0
ホモシスチン尿症	1	1	0	0	0	0
甲状腺機能亢進症	2	1	0	0	1	0
その他の代謝異常症	19	17	2	0	0	0
重症複合免疫不全症	2	1	1	0	0	0
B 細胞欠損症	6	5	1	0	0	0
合 計	275	230	32	2	11	0

5) 対象疾患別の精密検査依頼数について

表 35 に示すとおり、要精査率は全体で 0.58%、項目別では 0.00~0.28%で例年どおりであった。

表 35 対象疾患別の精密検査依頼数 (全 7,221 件中)

対 象 疾 患 名	精 査 依頼数	要精査率	精 査 内 訳		
			直接精査	再検精査	低出生体重児 哺乳不能児 再 検 精 査
フェニルケトン尿症	6	0.08	0	5	1
メープルシロップ尿症	0	0.00	0	0	0
ホモシスチン尿症	0	0.00	0	0	0
ガラクトース血症	3	0.04	1	2	0
21-水酸化酵素欠損症	4	0.06	0	4	0
先天性甲状腺機能低下症	20	0.28	3	16	1
その他の代謝異常症	5	0.07	3	2	0
重症複合免疫不全症	2	0.03	1	1	0
B 細胞欠損症	2	0.03	1	1	0
脊髄性筋萎縮症	0	0.00	0	0	0
合 計	42	0.58	9	31	2

6) 追跡調査結果について

要精査症例の追跡調査の結果、フェニルケトン尿症 1 例、高フェニルアラニン血症 1 例、軽症高フェニルアラニン血症 1 例、臍体循環シャント 1 例、SCAD 疑い 1 例、二次的なフェニルアラニンの上昇疑い 1 例、乳児一過性高 TSH 血症 6 例、先天性甲状腺機能低下症 6 例（内 4 例未確定）、一過性甲状腺機能低下症 2 例、先天性副腎過形成症 2 例、異常なし 11 例、不明 3 例、死亡退院 2 例であった。

拡大マスキング対象疾患に関しては、SMA は対象例なし、TREC 2 例と KREC 2 例の陽性例があったが、いずれも緊急の対応は不要で現在フォロー中である。

2-6. 特定保健指導

1) 概要

2008年から導入された特定健診・特定保健指導において、当協会は医療保険者から委託を受け、厚生労働省が定める基準に沿って実施している。

特定保健指導には「積極的支援」「動機付け支援」「動機付け支援相当」の3通りの方法がある。

当協会は、医療保険者が健診結果に基づいて選定した40歳以上75歳未満の被保険者と被扶養者を対象に医療保険者の要請に応じた形態で特定保健指導を実施している。また、2023年度からは健診当日の初回面談（初回面談分割型）において、オンライン面談を導入している。

2) 支援内容

(1) 積極的支援

支援方法としては、初回面談支援後1ヶ月ごとに電話支援または手紙支援を実施し、3～6ヶ月後に最終評価を電話支援で行う。

(2) 動機付け支援・動機付け支援相当

支援方法としては、初回面談支援後3ヶ月後に手紙支援または電話支援を実施し、3ヵ月後に最終評価を電話支援または手紙支援で行う。

※初回面談の方法としては、医療保険者の要請に応じて分割型または事後型を行う。

分割型：健診当日に初回分割①面談を実施し、1ヵ月後に初回分割②面談で結果説明をする。

事後型：健診の2ヵ月目以降に初回面談を実施する。

3) 結果

2023年度の特定保健指導実施者数は557人であった。オンライン面談の導入により特定保健指導受託事業所が増加、それに伴い実施者数も前年に比し252人（45.2%）増加した。

指導内容の内訳として、積極的支援314人（56.3%）、動機付け支援237人（42.5%）、動機付け支援相当6人（0.1%）であった。

退職や服薬開始の資格喪失、本人の申し出によって途中脱落した対象者は、積極的支援111人（35.3%）、動機付け支援39人（16.4%）であった。

最終評価時に腹囲1cm以上の減少者は306人支援中224人（73.2%）で、平均2.0cmの減少がみとめられた。体重1kg以上の減少者は306人支援中110人（36.0%）で、平均0.5kgの減少が認められた。支援対象者中、腹囲と体重の両方達成者は106人（47.3%）であった。そのうち体重2kg以上・腹囲2cm以上の達成者は50人（16.2%）であった。

4) まとめ

オンライン面談を導入したことで保健師の物理的移動時間を面談時間に充てることができ、日程も柔軟に対応できるようになった。その結果、遠方事業所の受け入れ、および同日の複数事業所の受け入れが可能となり、受託者数の増加につながった。

また、今年度は新たな取り組みとして、メールを活用した継続支援を試みたが、メールでの支援を希望する対象者は少数であった。

2025年度は、更なる充実を目指し、健診現場における階層化判断の変更を行い、より多くの方に保健指導を提供できる体制について検討していく。

事業年報 2024年度（令和6年度）

2026年3月発行

編集長 公益事業推進室 室長 倉本 省治

編集人 保健部 部長 杉野 隆司

保健部 部次長 田部 一則

発行  公益財団法人 山口県予防保健協会

〒753-0814 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

TEL 083-933-0008（代）

ホームページ <https://www.yobou.or.jp>